

第2章 アンケート調査 1 令和3年度調査結果のクロス集計による分析

本章では、アドバイザーが提供会員の不足感/充足感を感じているセンターの特徴・傾向と、実際の提供会員増減率とセンターの特徴・傾向、さらにアドバイザー調査と会員調査との紐づけから見えてくるセンターの特徴・傾向を明らかにした。

そして、提供会員調査のクロス集計によって、提供会員になった理由と属性、提供会員になったことで得たものと属性、多様な背景を持った家庭への支援への意識と属性について明らかにすることができた。本章による分析によって、以下の点が明らかとなった。

1. ファミリー・サポート・センターの適正規模について検討

実際の提供会員比率は増加しているにもかかわらず、不足感を感じているセンターがほとんどであることが明らかとなった。また規模が大きいセンターは、規模が小さいセンターと比較して、提供会員不足を実感していることが明らかとなった。そして提供会員の確保ができていないと感じている群は、様々な手立てを講じているが、効果を実感できていない、つまり不足感が補えていないことも明らかとなった。

小さい規模のセンターは、提供会員不足を感じにくく、また、広報手法としては、町内会や地域での小さい規模での活動を行っている様子もうかがえた。特に「ボランティア活動の従事者等への働きかけ」に最も有意な差があり、次に「公共施設や公的な行事での広報」、「民間施設での広報（商業施設等）」「保育園・幼稚園・認定こども園・児童館・小中学校保護者への働きかけ」「講習における工夫」、そして「町内会、地域での広報」「現在の会員への登録依頼の働きかけ」の項目で有意傾向があった。ファミリー・サポート・センターの適正規模や、人数に応じた交付金配分などについては、今後検討が必要だと考えられる。

2. 不足感の背景にある多様な家庭への支援のニーズと連携の在り方

「提供会員の不足感」と「多様な背景や考え方をを持った家庭と関わっている頻度が多いこと」とは関係性があることが明らかとなった。

さらに「提供会員の確保ができていないと感じている群」は、他機関との連携をしている割合が高いことも明らかとなった。そして、実際に提供会員が減少した（変わらなかった）グループの方が、増加したグループよりも、様々な内容の連携をしていることが明らかとなった。つまり提供会員の少なさを、連携で補っているという見方もできよう。

しかし、多様な背景や考え方をもった家庭が、切実な子育て支援のニーズをもっていることは明らかで、各地域の子育て支援組織あるいはシステムの有り様によって、連携で解決できる場合、連携できる組織がない場合（過疎地の交通の問題など）、ファミリー・サポート・センターでしか支援できないこと、地域の子育て支援の取り組みをどのようにマネジメントしていくのか、ガバナンスの在り方、行政が中心となるべきか、市民団体が中心となるべきかなど、継続的に検討される必要がある。それは、ファミリー・サポート・センターだけで解決できるものもあるが、地域の子育て支援の有りよう全体としての議論をしていく必要があるのかもしれない。

3. 提供会員認知経路としての「民間施設での広報（商業施設等）」

提供会員の認知経路として「民間施設での広報（商業施設等）」が有効であることが明らかとなった。提供

会員の多くが子育てを終えた方々だと考えた場合、その方々がどこで情報にアクセスしているかということ、日常的に行くスーパーマーケット、ドラッグストア等でのチラシの配布、あるいは商業施設、銀行、スーパーマーケット、公衆浴場、市内マンション等でのポスターの掲示が有効となってくる。本調査結果は、すでにそれらの広報を実施されているセンターが多いことの結果ではあるが、親子が多くいる子育て支援の場だけでなく、子育てを終わった世代が日常的に向かうであろう商業施設等とファミサポの連携が、提供会員確保にとって重要であることが明らかとなった。

4. 一人ひとりの「提供会員になる理由」「提供会員になって得たこと」の多様性

「提供会員が確保出来ている」、あるいは「出来ていない」ことと、「提供会員になる理由」と「提供会員になって得たこと」との関連性は、今回の調査では、十分整理ができなかった。

一つ言えることは、提供会員にとっての「提供会員になることの価値」の多様さについて、考えさせられる結果となったことである。それぞれの世代によって、提供会員になったことで得たものに違いがあることも明らかとなった。

もちろん、ファミサポは、相互援助活動で、金銭などの利益だけを追求して活動するものではない。しかし、研修によって多様な子育て支援の技術や心構えを身に付け、社会で自己実現ができる活動であり、対価以上の価値があると考えられる。これまで専業主婦で社会に出る機会がなかった方や、子育て真っ最中で社会に出る機会を失っている方にとっては社会活動の架け橋になることもあるだろう。少額の収入でも、その方にとっては、その方独自の価値があるかもしれない。あるいは、地域でつながりをつくることができなかった方が、親子とのつながりを生きがいと感じるかもしれない。今回の調査結果は、その人その人にとってのファミサポの活動で得る価値が多様であるということについて考えるきっかけを与えるのではないだろうか。

5. 提供会員の活動年数が積み重なることの価値

活動年数が5年以上になると、「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」「自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい」「地域に新しい知り合いができる」などと、得たものに大きな差が出たように、提供会員の活動の継続性と、得るものとの間に、関係性があることが明らかとなった。継続的な活動のメリットとして、ファミサポから得るものが多くなることは、広く周知していく必要があるだろう。

また、5年以上継続した提供会員は、多様な家庭を支える役割を担っていることも明らかとなった。特に、「病児・病後の子ども」「ひとり親家庭」「発達の遅れや障がいがある子ども」「アレルギーのある子ども」「親が精神的な疾患のある家庭」「親が妊娠中の家庭」「転勤・転居してきたばかりの家庭」「外国籍家庭」「医療的ケアの必要な子ども」の順に、活動歴5年以上の提供会員が、5年未満の提供会員より関わっている割合が有意に多い結果となった。

専門性と活動経験を積み上げた提供会員の価値と位置づけを、再定義する必要があるのではないだろうか。

6. 潜在的資格者を地域の子育て支援に活かすファミサポの役割

今回の調査では、保育士や幼稚園教諭、看護師、社会福祉士、ホームヘルパーなど、地域に住まわれている潜在的な資格保有者が、その専門性をファミサポで活かし活躍している姿が見えてきた。また、それぞれの資格特有の提供会員になった理由や提供会員になって得たものがあり、ファミサポの価値を多角的にとらえることができた。特に、「多様な背景を持った家庭への支援への関わり」の部分では、ホームヘルパー資格、社会福祉士資格は、「福祉の資格」として、活躍していることが明らかとなった。

提供会員として活躍しているのは、女性が圧倒的に多い。女性は、その固有の問題として、専門的資格を取

得しても、家庭生活を営むために、社会で活躍する機会を失っている方も多い。そのような方が、ファミサポを通して、地域の子育て家庭を下支えしてくださっていることが、改めて理解できた。

I. アドバイザー調査

本章では、アドバイザー調査内項目のクロス集計による分析と、アドバイザー調査と会員調査（提供会員、依頼会員、両方会員）との紐づけによる分析を行った。

この分析により、提供会員確保に向けたアドバイザーの不足感/充足感といった実感のあるセンターの回答の比較、および提供会員の5年間の増減率（平成26年度と令和元年度）から実際に増加したセンターと減少した（変わらない）センターの回答の比較を行った。

【提供会員の確保が出来ている/出来ていない、の感じ方と実際の増加率について】

今回の調査では、提供会員の確保が出来ている/出来ていない、について2つの指標がある。

ひとつは、アドバイザー調査の「依頼会員数に対して提供会員数が不足していますか」に対する回答である。この分析では、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」（不足している・どちらかといえば不足している）、「どちらともいえない群」、「提供会員の確保が出来ている群」（「どちらかといえば足りている」、「足りている」）の3つの群に分けてクロス集計を行った。

各群の度数と割合は、表2-I-1の通りである。回収したサンプルは、「提供会員が不足している」と回答した割合が9割近くと最も多く、3つの群に分けた際、各群に大きな偏りがあるが、統計的に処理し、母集団の傾向を明らかにした。

表2-I-1 提供会員確保の不足感/充足感

	不足	どちらとも いえない	充足	合計
度数	651	66	35	752
%	86.2	8.7	4.6	99.6

また、もう一つの指標は、「コロナ前の直近5年間（平成26年度と令和元年度）の提供会員の増減について教えてください」に対する回答である。回答用紙では、「A. 平成26年度の提供会員数（平成27年3月31日時点）」「B. 令和元年度の提供会員数（令和2年3月31日時点）」「提供会員数の増減率（ $B \div A$ ）%」の3つを回答していただいた。欠損値、外れ値を除外した平均値、中央値、標準偏差、最小値、最大値は、表2-I-2の通りである。

表2-I-2 提供会員の増減率（%）

平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
107.81	107.0	26.290	42	171

分析データは、正規分布表の平均値±標準偏差の2倍の範囲内に全データの95.45%が分布するため、増減率55.23%～160.39%のものを抽出した。

以上のデータをもとに、提供会員確保の不足感/充足感（「どちらともいえない」を除外）と、各センターの提供会員の5年間の増減率の平均の差を比較した。クロス集計した結果、この2つの群に有意な相関は見られ

なかった。つまり提供会員比率は増加していても、不足感を感じているセンターがほとんどであることが明らかとなった。

一方、表 2- I- 3 にあるように令和元年度の提供会員数は、最小のセンターは提供会員 0 名であり、最大のセンターは、提供会員 2, 941 名となっており、団体の規模が様々であることがわかる。増加率は、各センターの規模の違いによって、違う実感をもたらすと考えられる。

表 2- I- 3 令和元年度の提供会員数

平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
170. 69	92. 00	233. 676	0	2, 941

そこで、令和元年度の提供会員数と、提供会員確保の不足感/充足感（「どちらともいえない」を除外）を多重比較した結果、不足感を感じているセンターの規模の平均が 178. 90 人で、充足感を感じているセンターの規模が 96. 24 人となり、規模が大きい方が不足感を感じているという有意傾向（ $p=. 073$ ）が見られた。

さらに、令和元年度の提供会員数を、中央値より大きい群（大規模センター）と小さい群（中央値を含む中規模センター）で分け、提供会員の提供会員確保の不足感/充足感（「どちらともいえない」を除外）とのクロス集計を行ったところ、5%水準で有意な差が見られた（ $\chi^2(1) = 4. 690$ 、 $p=. 030$ ）。その結果、大規模センターの方が不足していると感じている割合が大きく、小規模センターの方が充足していると感じている割合が有意に多いことが明らかとなった。

以上の指標の特性を踏まえつつ、以下では、提供会員の確保が出来ている/出来ていないの実感、および実際の増減率の二つの指標を使ってクロス集計を行った。

I- 1. 提供会員確保の不足感/充足感とセンターの特徴・傾向

ここでは、提供会員の確保が出来ていると「実感」しているセンターと、確保が出来ていないと「実感」しているセンターの特徴を明らかにする。

I- 1- (1) 会員枠の拡大や切り替え

【会員枠の拡大や切り替えの手立てについて】

クロス集計の結果、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」が、提供会員を増やすため「依頼会員に、両方会員になってもらうよう働きかけなどを行っている（子どもが大きくなった後も含む）」と回答したものが、行っていないと回答したものよりも有意に多いことが明らかとなった（ $\chi^2(2) = 7. 951$ 、 $p=. 022$ ）。

【効果について】

次に、その効果について分析を行った。効果についての選択肢は、「とても効果があった」1点から、「全く効果がなかった」4点までの4件法となっており、点数が低いほど、効果を実感している回答となる。効果について多重比較を行った結果を、表 2- I- 4 にまとめている。

「提供会員の確保が出来ていると感じる群」が特に効果を感じているのは、「提供会員の配偶者も会員登録をしてもらい、ご夫婦ともに提供会員になってもらうようにしている」1. 70（平均 2. 37）と、「子育て支援員研修修了者」など他の子育てボランティアやサポーターの養成講座修了者へ働きかけている」1. 92（平均 2. 37）であった。

次に、「提供会員の確保が出来ている群」と「提供会員の確保が出来ていない群」の比較（平均値の差）のために、多重比較を行った結果、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」が、多くの項目で効果を実感していることが明らかとなった（平均得点が有意に上回っていた）。

特に、「提供会員の配偶者も会員登録をしてもらい、ご夫婦ともに提供会員になってもらうようにしている」に効果を感じており（ $p < .001$ ）、次に「子育てを終えた依頼会員が、その後、提供会員に登録するような仕組みとなっている」「依頼会員に、両方会員になってもらうよう働きかけなどを行っている。（子どもが大きくなった後も含む）」「子育て支援員研修修了者など他の子育てボランティアやサポーターの養成講座修了者へ働きかけている」は、有意傾向（ $p < .1$ ）にあった。

「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」が、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」よりも有意に効果を感じている項目は一つもなかった。

以上のことから、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」は、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」と比較すると、会員枠の拡大や切り替えに関する手立てをあまり行っていないが、実施している手立てに関しては、効果を実感していることが明らかとなった。逆に、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」は、会員枠の拡大や切り替えに関する手立てを多く講じているが、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」ほど、効果を感じていないことが明らかとなったと考えられる。

表 2-I-4 提供会員の充足感と会員の拡大や切り替えとの関連

	不足	どちらとも いえない	充足		
	平均	平均	平均	多重比較	
A. 子育てを終えた依頼会員が、その後、提供会員に登録するような仕組みとなっている。	2.73	2.45	2.29	*	<i>ns</i>
B. 依頼会員に、両方会員になってもらうよう働きかけなどを行っている。（子どもが大きくなった後も含む）	2.60	2.61	2.21	*	不足>充足 *
C. 提供会員の配偶者も会員登録をもらい、ご夫婦ともに提供会員になってもらうようにしている	2.40	2.50	1.70	***	不足>充足 *** どちらとも>充足 ***
D. 学生など、若い世代にも対象を広げている。	3.05	2.83	2.83	<i>ns</i>	<i>ns</i>
E. 男性向けにチラシを作成するなど、男性会員の獲得に力を入れている。	2.54	3.00	0.00	<i>ns</i>	<i>ns</i>
F. 送迎に特化した協力・両方会員の開設などの工夫を行っている。	2.43	2.67	2.00	<i>ns</i>	<i>ns</i>
	2.39	2.43	1.92	*	不足>充足 **

G. 「子育て支援員研修修了者」など他の子育てボランティアやサポーターの養成講座修了者へ働きかけている。						どちらとも>充足	*
H. 子育てを終えた方々や、主任児童員等に、個別に声掛けしている。	1.44	1.55	1.55	<i>ns</i>			<i>ns</i>

***p<.01 **p<.05 *p<.1

I-1-(2) 広報手法（対象）の効果

【広報手法（対象）について】

クロス集計の結果、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」が良く行っている広報手法は、「町内会、地域での広報」(p<.001)であった。

一方、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」の方が良く行っている手法は、「市の広報に掲載」(p<.05) ($\chi^2(2) = 8.137, p = .017$) および「現在の依頼会員への提供会員への登録依頼の働きかけ」であった。

逆に、「市の広報に掲載」については、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」は、「行っていない」と回答したものが多くことが明らかとなった ($\chi^2(2) = 13.279, p < .001$)。

【効果について】

次に、その効果について分析を行った。効果についての選択肢は、「とても効果があった」1点から、「全く効果がなかった」4点までの4件法となっており、点数が低いほど、効果を実感している回答となる。

「提供会員の確保が出来ていると感じる群」が効果を感じているのは、「講習の工夫」(平均1.91)と、「口コミ」(平均1.93)であった。

さらに「提供会員の確保が出来ている群」と「提供会員の確保が出来ていない群」の平均値の比較を行った結果、すべての項目で「提供会員の確保が出来ていると感じる群」が効果を実感していた(平均得点が有意に上回っていた)。

特に「ボランティア活動の従事者等への働きかけ」(p<.001)に最も有意な差があり、次に「公共施設や公的な行事での広報」、「民間施設での広報(商業施設等)」、「保育園・幼稚園・認定こども園・児童館・小中学校保護者への働きかけ」、「講習における工夫」(p<.05)、そして「町内会、地域での広報」、「現在の会員への登録依頼の働きかけ」などに有意傾向(p<.1)があった。

以上のことから、「提供会員の確保が出来ている群」は、「町内会、地域」など、小さいエリアごとの広報、あるいは足元の広報に力を入れていることや、実施している多くの広報手法(対象)について、効果を実感していることが明らかとなった。「提供会員の確保が出来ていない群」は、逆に「市の広報」など、大きなエリアへの広報に力を入れており、様々な広報手法(対象)を実施しているものの、効果を実感していないことが明らかとなった。

I-1-(3) 提供会員とコミュニケーション方法の特徴

「提供会員とコミュニケーション方法の特徴」については、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」の方が、提供会員とコミュニケーションを活発に行っているようである。提供会員の確保に向けての努力がなされていることがうかがえる。

クロス集計の結果、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」は、「提供会員・依頼会員混合のイベント型の交流会（バルーンアートなど）」（ $\chi^2(2)=7.870, p=.020$ ）、「活動のない提供会員への個別電話でのフォロー（交流会・研修へのお誘いや、状況変化のヒアリング等）」、「活動のない提供会員への個別の郵送物（広報含む）でのフォロー（交流会・研修へのお誘いや、状況変化のおたずね等）」を行っている割合が有意に多いことが明らかとなった。

一方、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」の特徴として、「活動のない提供会員への個別電話でのフォロー（交流会・研修へのお誘いや、状況変化のヒアリング等）」や「活動のない提供会員への個別の郵送物（広報含む）でのフォロー（交流会・研修へのお誘いや、状況変化のおたずね等）」を、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」よりも行っていない割合が高いことが明らかとなった。

I-1-(4) 多様な背景や考え方をを持った家庭との関わりの特徴（頻度）

ここでは、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」について平均値の比較を行った（表2-I-5）。

頻度についての選択肢は、「よくある（週に数件程度）」1点から、「全くない」5点までの5件法となっており、点数が低いほど、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」の頻度が高いことを表している。

その結果、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」は、「確保出来ている群」より、多様な背景や考え方をを持った家庭と関わっている頻度が多いことが明らかとなった。

「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」で、特に有意によく関わっているのは、「親が妊娠中の家庭」との関わり頻度（平均値2.85）「ひとり親家庭」との関わり頻度（平均値2.53）、「発達の遅れや障がいがある子ども」との関わり頻度（平均値2.91）であった。

その他、約7割の項目（26項目中、18項目）で、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」が、「確保出来ている群」より、有意（有意傾向を含む）によく関わっている結果となった。その逆の結果は、一つもなかった。

「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」が、「確保出来ている群」より、よく関わっているもので、1%水準で有意だったものは、「発達の遅れや障がいがある子ども」との関わり頻度（ $p=0.005$ ）、「アレルギーのある子ども（Dも含む）」との関わり頻度（ $p=0.001$ ）、「親が精神的な疾患のある家庭」との関わり頻度（ $p=0.003$ ）、「ひとり親家庭」との関わり頻度（ $p=0.006$ ）、「高齢出産の家庭」との関わり頻度（ $p=0.005$ ）、「多胎育児家庭」との関わり頻度（ $p=0.007$ ）、「親が妊娠中の家庭」との関わり頻度（ $p=0.001$ ）、「ファミサポへ過度に依存する家庭」との関わり頻度（ $p=0.009$ ）、「安価なベビーシッターや安価なタクシー代わりに頻回利用している家庭」との関わり頻度（ $p=0.005$ ）の9項目であった。

また、5%水準で有意だったものは、「外国籍家庭」との関わり頻度（ $p=0.013$ ）、「経済的に困窮している家庭」との関わり頻度（ $p=0.018$ ）の2項目であった。

そして、有意傾向（10%未満）のあったものは、「生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭」との関わり頻度（ $p=0.052$ ）、「避難してきた（している）家庭」との関わり頻度（ $p=0.087$ ）、「子育てと介護をしている家庭」との関わり頻度（ $p=0.055$ ）、「転勤・転居してきたばかりの家庭」との関わり頻度（ $p=0.057$ ）、「複合的に多くの問題を抱えた家庭」との関わり頻度（ $p=0.071$ ）、「提供会員へのハラスメントやパワハラ傾向のある家庭」との関わり頻度（ $p=0.065$ ）、「お稽古事や習い事が多すぎる家庭」との関わり頻度（ $p=0.056$ ）の7項目であった。

以上の結果から、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」は、「確保出来ている群」より、有意に「多様な背景や考え方をを持った家庭」に関わっていることが明らかとなった。「提供会員の不足感」と「多

様な背景や考え方をを持った家庭と関わっている頻度が多いこと」とは関係性があることが明らかとなった。

表 2-I-5 多様な背景や考え方をを持った家庭との関わりと頻度

分類	度数	平均値	標準偏		群間		F 値	有意確率	
			差	群内	自由度				
病児・病後の子ども	不足	640	4.45	.849	群間	1	.688	.407	-
	充足	35	4.57	.739	群内	673			
	合計	675	4.46	.843	合計	674			
発達の遅れや障がいがある子ども	不足	645	2.91	1.413	群間	1	7.872	.005	**
	充足	35	3.60	1.288	群内	678			
	合計	680	2.95	1.414	合計	679			
医療的ケアの必要な子ども	不足	639	4.73	.626	群間	1	.830	.363	-
	充足	35	4.83	.453	群内	672			
	合計	674	4.74	.618	合計	673			
エピペンを処方された子ども	不足	641	4.87	.449	群間	1	.022	.881	-
	充足	35	4.86	.550	群内	674			
	合計	676	4.87	.454	合計	675			
アレルギーのある子ども (上記も含む)	不足	646	3.61	1.149	群間	1	10.630	.001	**
	充足	35	4.26	.980	群内	679			
	合計	681	3.64	1.149	合計	680			
外国籍家庭	不足	639	4.00	1.211	群間	1	6.258	.013	*
	充足	35	4.51	.853	群内	672			
	合計	674	4.02	1.200	合計	673			
経済的に困窮している家庭	不足	629	3.87	1.172	群間	1	5.659	.018	*
	充足	34	4.35	.849	群内	661			
	合計	663	3.89	1.162	合計	662			
生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭	不足	623	4.04	1.176	群間	1	3.780	.052	†
	充足	34	4.44	.860	群内	655			
	合計	657	4.06	1.164	合計	656			
親が精神的な疾患のある家庭	不足	638	3.39	1.295	群間	1	8.899	.003	**
	充足	35	4.06	.998	群内	671			
	合計	673	3.43	1.289	合計	672			
親が障がい者の家庭	不足	634	4.16	1.118	群間	1	2.205	.138	-
	充足	33	4.45	.869	群内	665			
	合計	667	4.18	1.109	合計	666			
ひとり親家庭	不足	645	2.53	1.288	群間	1	7.496	.006	**
	充足	35	3.14	1.309	群内	678			
	合計	680	2.56	1.295	合計	679			

高齢出産の家庭	不足	635	3.90	1.227	群間	1	7.874	.005	**
	充足	34	4.50	.826	群内	667			
	合計	669	3.93	1.216	合計	668			
多胎育児家庭	不足	642	3.66	1.270	群間	1	7.414	.007	**
	充足	34	4.26	.994	群内	674			
	合計	676	3.69	1.264	合計	675			
若年出産の家庭	不足	637	4.37	.931	群間	1	.675	.412	-
	充足	34	4.50	.862	群内	669			
	合計	671	4.37	.928	合計	670			
避難してきた（している） 家庭	不足	639	4.70	.622	群間	1	2.930	.087	†
	充足	35	4.89	.323	群内	672			
	合計	674	4.71	.612	合計	673			
子育てと介護をしている家 庭	不足	633	4.39	.837	群間	1	3.708	.055	†
	充足	34	4.68	.684	群内	665			
	合計	667	4.41	.832	合計	666			
DVあるいはその予備軍の家 庭	不足	640	4.47	.785	群間	1	1.873	.172	-
	充足	35	4.66	.684	群内	673			
	合計	675	4.48	.780	合計	674			
虐待あるいはその予備軍の 家庭（ネグレクト・身体へ の虐待等	不足	633	4.29	.980	群間	1	2.416	.121	-
	充足	34	4.56	.705	群内	665			
	合計	667	4.31	.970	合計	666			
転勤・転居してきたばかり の家庭	不足	645	3.22	1.091	群間	1	3.622	.057	†
	充足	34	3.59	1.076	群内	677			
	合計	679	3.24	1.092	合計	678			
親が妊娠中の家庭	不足	642	2.85	1.227	群間	1	11.569	.001	**
	充足	35	3.57	1.170	群内	675			
	合計	677	2.89	1.233	合計	676			
ファミサポへ過度に依存す る家庭	不足	638	3.72	1.387	群間	1	6.917	.009	**
	充足	35	4.34	1.056	群内	671			
	合計	673	3.75	1.378	合計	672			
複雑な家族構成の家庭	不足	639	4.01	1.074	群間	1	1.840	.175	-
	充足	35	4.26	.886	群内	672			
	合計	674	4.02	1.066	合計	673			
複合的に多くの問題を抱え た家庭	不足	639	3.86	1.173	群間	1	3.262	.071	†
	充足	35	4.23	.973	群内	672			
	合計	674	3.88	1.165	合計	673			
提供会員へのハラスメント やパワハラ傾向のある家庭	不足	639	4.75	.591	群間	1	3.421	.065	†
	充足	34	4.94	.239	群内	671			

	合計	673	4.76	.580	合計	672			
安価なベビーシッターや安	不足	635	4.01	1.357	群間	1	8.017	.005	**
価なタクシー代わりに頻回	充足	34	4.68	.684	群内	667			
利用している家庭	合計	669	4.05	1.339	合計	668			
お稽古事や習い事が多すぎ	不足	637	3.73	1.507	群間	1	3.660	.056	†
る家庭	充足	35	4.23	1.165	群内	670			
	合計	672	3.76	1.495	合計	671			

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

I-1-(5) 他機関との連携の特徴

「提供会員の確保が出来ていると感じる群」と「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」（「どちらともいえない」を除外）で、他機関との連携に違いがあるのかクロス集計を行った。連携先と内容の視点【連携先順】については表2-I-6、【内容順】については表2-I-7に示している。

有意な差が見られたすべての項目において、連携している割合が高いのは、「提供会員の確保が出来ている群」であった。

有意水準1%未満で有意差が見られた項目は、「ひとり親に関する施設・相談機関（母子寡婦福祉連合会・母子生活支援施設等）」で「虐待や困難ケース等の相談」を行っている、「シルバー人材センター」で「情報の共有」を行っているの2項目であった。

有意水準5%未満で有意差が見られた項目は、「放課後児童クラブ/学童」で「ファミサポが併設」を行っている、「保健所/市町村保健センター/市の保健師等」で「講習会の開催・講師依頼」を行っている、「障がいのある子どもの施設・相談機関（児童発達支援センター/放課後デイ/療育施設等）」で「講習会の開催・講師依頼」を行っている、「ひとり親に関する施設・相談機関（母子寡婦福祉連合会・母子生活支援施設等）」で「講習会の開催・講師依頼」を行っているの4項目であった。

有意水準10%未満で有意傾向が見られた項目は、「放課後児童クラブ/学童」で、「虐待や困難ケース等の相談」を行っている、「公民館・図書館・市民大学等の社会教育施設」で、「ファミサポが併設」を行っているの2項目であった。

表 2-I-6 連携先順：他機関との連携の有無について

		調整済み残差				
		自由度	χ ² 値	P	不足 充足	
放課後児童クラブ/学童	虐待や困難ケース等の相談	1	3.807	.066	†	-2.0<2.0
	ファミサポが併設	1	6.302	.043	*	-2.5<2.5
保健所/市町村保健センター/市の保健師等	講習会の開催・講師依頼	1	6.323	.014	*	-2.5<2.5
公民館・図書館・市民大学等の社会教育施設	ファミサポが併設	1	18.627	.051	†	-4.3<4.3
障がいのある子どもの施設・相談機関（児童発達支援センター/放課後デイ/療育施設等）	講習会の開催・講師依頼	1	4.716	.035	*	-2.2<2.2

ひとり親に関する施設・相談機関（母子寡 婦福祉連合会・母子生活支援施設等）	虐待や困難ケース等の相談 講習会の開催・講師依頼	1	12.907	.003	**	-3.6<3.6
シルバー人材センター	情報の共有	1	12.712	.005	**	-3.6<3.6
						† .05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

表 2- I - 7 内容順：他機関との連携の有無について

		自由度	χ^2 値	p		調整済み残差 不G 満G
ファミサポが併 設	公民館・図書館・市民大学等の社会教育施設	1	18.627	.051	†	-4.3<4.3
	放課後児童クラブ/学童	1	6.302	.043	*	-2.5<2.5
講習会の開催・ 講師依頼	ひとり親に関する施設・相談機関（母子寡婦福祉連合 会・母子生活支援施設等）	1	4.652	.088	*	-2.2<2.2
	障がいのある子どもの施設・相談機関（児童発達支援 センター/放課後デイ/療育施設等）	1	4.716	.035	*	-2.2<2.2
	保健所/市町村保健センター/市の保健師等	1	6.323	.014	**	-2.5<2.5
虐待や困難ケース 等の相談	ひとり親に関する施設・相談機関（母子寡婦福祉連合 会・母子生活支援施設等）	1	12.907	.003	**	-3.6<3.6
	放課後児童クラブ/学童	1	3.807	.066	†	-2.0<2.0
情報の共有	シルバー人材センター	1	12.712	.005	**	-3.6<3.6

I-1-（6）提供会員確保の不足感/充足感と提供会員養成講習（9 項目・24 時間）の実施状況

提供会員確保の不足感/充足感と提供会員養成講習（9 項目・24 時間）の実施状況をクロス集計した結果、有意差は見られなかった。

I-1-（7）提供会員確保の不足感/充足感とサブリーダーの有無

サブリーダーの数（表 2- I -8）は、最大値の 42 人が大きく平均値を押し上げる形となっているが、中央値を見ると分かるように、約 7 割（68.9%、欠損値除去）という多くのセンターでサブリーダーはいない。

ここでは、サブリーダーがいない群と、いる群の 2 群に分け、提供会員確保の不足感/充足感とクロス集計を行った結果、有意差は見られなかった。

表 2- I -8 サブリーダーの状況

平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値	サブリーダー	
					有	無
1.57	0.00	3.281	0	42	217	466

I-1-(8) 提供会員確保の不足感/充足感とアドバイザーの任期

アドバイザーの任期については、表2-I-9、表2-I-10の通りである。任期のあるアドバイザーは、3割程度となった。そのうち、8割を超えるアドバイザーが1年任期となっている。アドバイザーの任期の有無と提供会員確保の不足感/充足感のクロス集計を行った結果、有意差は見られなかった。

表 2-I-9 アドバイザーの任期

	任期あり	任期なし
度数	249	500
割合	33.2	66.8

表 2-I-10 任期のあるアドバイザーの任期期間

	全 体	1年	2年	3年	4年以上
度数	248	207	3	17	21
%	100.0	83.5	1.2	6.9	8.5

※1件は無回答

I-1-(9) 提供会員確保の不足感/充足感とアドバイザーの雇用（正規・非正規他）により違いが見られるか

アドバイザーの雇用（正規・非正規他）の状況については、表2-I-11となっている。

提供会員確保の不足感/充足感とアドバイザーの雇用（正規・非正規他）についてクロス集計を行った結果、市区町村のパートタイム・アルバイトは、1%水準で有意に「不足している」と感じていることが明らかとなった ($\chi^2(1) = 7.168, p = .006$)。逆に、市区町村の嘱託職員（有期雇用）は、「充足している」と感じている有意傾向があることが明らかとなった ($\chi^2(1) = 2.989, p = .092$)。

その他の雇用形態では、有意な差は認められなかった。

表 2-I-11 提供会員確保の不足感/充足感とアドバイザーの雇用（正規・非正規他）

	度数	%
市区町村の正職員	84	8.7
市区町村の嘱託職員（有期雇用）	150	15.6
市区町村のパートタイム・アルバイト	134	14.0
委託先（社会福祉協議会、NPO法人等）の正職員	183	19.1
委託先（社会福祉協議会、NPO法人等）の嘱託職員（有期雇用）	185	19.3
委託先（社会福祉協議会、NPO法人等）のパートタイム・アルバイト	223	23.3
合計	959	100

I-2. 提供会員増減率との比較

ここでは、提供会員の5年間の増減率（平成26年度と令和元年度）の平均値による回答の違いの比較と、実際に増加したセンターと減少した（変わらない）センターの回答の割合の比較を行った。

I-2-（1）会員枠の拡大や切り替え

【会員枠の拡大や切り替えの手立てについて】

平均値の比較の結果、表2-I-12の通り、「子育てを終えた方々や、主任児童員等に、個別に声掛けしている」と回答したセンターの増減率が有意に高いことが明らかになった（ $F(1, 562)=9.044, p<.05$ ）。

一方、増加したグループと、減少した（変わらなかった）グループとの間でクロス集計を行った結果、増加したグループの方が「依頼会員に、両方会員になってもらうよう働きかけ（子どもが大きくなった後も含む）」を行っている」と回答した割合が有意に多いことが明らかとなった（ $\chi^2(1)=3.973, p=.046$ ）。その他の項目に有意な差は認められなかった。

表2-I-12 子育てを終えた方々や、主任児童員等に、個別に声掛け

	度数	平均値
行っている	303	111.10
行っていない	261	104.49
合計	564	108.04

【効果について】

増加したグループと、減少した（変わらなかった）グループとの間でクロス集計を行った結果、有意な差は認められなかった。

I-2-（2）広報手法（対象）の効果

【広報手法（対象）について】

平均値の比較の結果、「講習における工夫」を実施したと回答したセンターの増減率が有意に高いことが明らかになった（ $F(1, 567)=4.638, p<.05$ ）。また、「講習会・交流会の工夫」を実施したと回答したセンターの増減率が有意に高いことが明らかになった（ $F(1, 567)=3.986, p<.05$ ）。

【効果について】

増加したグループと、減少した（変わらなかった）グループとの間でクロス集計を行った結果（表2-I-13）、「民生委員等への事業募集、会員募集の働きかけ」「保育園・幼稚園・認定こども園・児童館・小中学校保護者への働きかけ」「現在の会員への登録依頼の働きかけ」の項目で、増加したグループの方が「効果を実感している」と回答した割合が有意に多いことが明らかとなった。また、「町内会、地域での広報」「子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知」の項目で、増加したグループの方が「効果を実感している」と回答した割合が多いことが明らかとなった（有意傾向）。

表 2- I-13 広報手法（対象）の効果について

		自由		平均平	F 値	P	
		平方和	度	方			
現在の会員への登録依頼の働きかけ	群間	2.669	1	2.669	7.475	0.007	**
	群内	94.984	266	0.357			
	合計	97.653	267				
保育園・幼稚園・認定こども園・児童館・小中学校保護者への働きかけ	群間	2.418	1	2.418	6.058	0.014	*
	群内	139.693	350	0.399			
	合計	142.111	351				
民生委員等への事業募集、会員募集の働きかけ	群間	1.966	1	1.966	4.801	0.030	
	群内	88.025	215	0.409			
	合計	89.991	216				*
子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知	群間	1.286	1	1.286	2.967	0.086	
	群内	201.017	464	0.433			†
	合計	202.303	465				
町内会、地域での広報	群間	1.514	1	1.514	2.864	0.092	
	群内	134.767	255	0.528			
	合計	136.280	256				†

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

I-2-(3) 提供会員とコミュニケーション方法の特徴

クロス集計の結果、増加したグループの方が、「提供会員・依頼会員混合のイベント型の交流会（バルーンアートなど）」「提供会員・依頼会員混合のフォローアップ・子育て研修」「活動のない提供会員への個別の郵送物（広報含む）でのフォロー（交流会・研修へのお誘いや、状況変化のおたずね等）」を実施した回答が有意に多いことが明らかになった。

表 2- I-14 提供会員とコミュニケーション方法の特徴について

			増減率（増・減）		p	
			増えた	減った・変わらない		
提供会員・依頼会員混合のイベント型の交流会（バルーンアートなど）の実施		度数	184	101	0.038	*
	はい	%	54.40%	45.50%		
		調整済み残差	2.1	-2.1		
	いいえ	度数	154	121		

		%	45.60%	54.50%		
		調整済み残差	-2.1	2.1		
		度数	130	64	0.017	*
提供会員・依頼会員混 合のフォローアップ・ 子育て研修」の実施	はい	%	38.50%	28.70%		
		調整済み残差	2.4	-2.4		
		度数	208	159		
	いいえ	%	61.50%	71.30%		
		調整済み残差	-2.4	2.4		
		度数	275	165	0.037	
活動のない提供会員へ の個別の郵送物（広報 含む）でのフォロー （交流会・研修へのお 誘いや、状況変化のお たずね等）の実施	はい	%	80.20%	72.70%		
		調整済み残差	2.1	-2.1		
		度数	68	62		
	いいえ	%	19.80%	27.30%		
		調整済み残差	-2.1	2.1		*

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

I-2-(4) 多様な背景や考え方を持った家庭との関わりの特徴（頻度）

平均値の比較の結果、増加したグループの方が、「経済的に困窮している家庭」への関わりを行っている点数が有意に高い傾向があることが明らかとなった（ $F(1, 549)=3.617, p<.058$ ）。その他の項目では、増加したグループと、減少した（変わらなかった）グループとの間で有意差は見られなかった。

I-2-(5) 他機関との連携の特徴

【連携の有無】

増減率を、増加したグループと、減少した（変わらなかった）グループとに分け、「他機関との連携」の有無の項目との間でクロス集計（表 2-I-15）を行った。その結果、減少した（変わらなかった）グループが、増加したグループより、「里親」と有意に連携していることが明らかとなった。

表 2-I-15 他機関との連携の有無について

	自由度	値	P	調整済み残差	
				増	減
里親	1	5.392	.020 *	-2.3	2.3

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

【連携先と内容の視点から】

増減率を、増加したグループと、減少した（変わらなかった）グループとに分け、「連携している内容」に違

いがあるのかクロス集計を行った（表2-I-16）。

有意差のあるすべての項目で、減少した（変わらなかった）グループの方が、増加したグループよりも、様々な内容の連携をしていることが明らかとなった。減少した（変わらなかった）グループは、「社会福祉協議会等」と、「虐待や困難ケース等の相談」「講習会の開催・講師依頼」「ファミサポが併設」において連携している割合が有意に多い。また、「公民館・図書館・市民大学等の社会教育施設」と「活動場所の提供」において連携している割合が有意に多い。そして、「児童相談所」と、「事業の周知・広報（チラシ掲示等）」において連携している割合が有意に多いことが明らかとなった。

表 2-I-16 他機関との連携の有無について

		自由度	値	P		調整済み残差	
						増G	減G
社会福祉協議会等	虐待や困難ケース等の相談	1	5.734	.017	*	-2.4	2.4
	講習会の開催・講師依頼	1	5.764	.016	*	-2.4	2.4
	ファミサポが併設	1	4.314	.038	*	-2.1	2.1
公民館・図書館・市民大学等の社会教育施設	活動場所の提供	1	5.194	.023	*	-2.3	2.3
児童相談所	事業の周知・広報（チラシ掲示等）	1	5.387	.020	*	-2.3	2.3

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

I-2-(6) 提供会員増減率と提供会員養成講習(9項目・24時間)の実施状況

提供会員増減率と提供会員養成講習(9項目・24時間)の実施状況を、多重比較および2群に分けたクロス集計をした結果、有意差は見られなかった(表2-I-17)。

一方、令和元年度の提供会員数を、中央値より大きい群(大規模センター)と小さい群(中央値を含む中小規模センター)で分け、提供会員養成講習(9項目・24時間)の実施状況とのクロス集計を行ったところ、1%水準で有意な差が見られた($\chi^2(1) = 9.576, p = .001$)。小さい規模のセンターは、大きいセンターと比較して、実施しなかった割合が有意に高いという結果が明らかとなった。

表 2-I-17 国から提示された講習項目・時間数(9項目・24時間)すべて満たした講習会の令和2年度の実施状況とセンター規模(提供会員数)

		センター規模		有意確率	
		小	大		
実施した	度数	92	130	.001	**
	割合	25.6%	36.3%		
	調整済み残差	-3.1	3.1		
実施しなかった	度数	267	228		
	割合	74.4%	63.7%		
	調整済み残差	3.1	-3.1		

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

I-2-(7) 提供会員増減率とサブリーダーの有無

提供会員増減率とサブリーダーの有無を、平均値の比較および2群に分けたクロス集計をした結果、有意差は見られなかった。

I-2-(8) 提供会員増減率とアドバイザーの任期

提供会員増減率とアドバイザーの任期の有無を、平均値の比較および2群に分けたクロス集計をした結果、有意差は見られなかった。

I-2-(9) 提供会員増減率とアドバイザーの雇用（正規・非正規他）

提供会員増減率を2群に分け、アドバイザーの雇用（正規・非正規他）とクロス集計をした結果、市区町村正社員のみ、5%水準で有意差が見られた ($\chi^2(1) = 5.900, p = .018$)。雇用形態で市区町村正社員と回答したセンターは、提供会員が減っている（または変わらない）センターが有意に多いことが明らかとなった。

I-3. 提供会員、依頼会員、両方会員調査との紐づけによる提供会員確保の不足感/充足感および提供会員増減率とセンターの特徴・傾向

ここでは、提供会員確保の不足感/充足感および増減率と会員調査との紐づけによる分析を行う。

I-3-(1) 認知経路の傾向（提供会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 認知経路の傾向（提供会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

認知経路の傾向（提供会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感をクロス集計した結果、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」は、認知経路として「子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知」と回答した割合が有意に多いことが明らかとなった ($\chi^2(1) = 20.715, p < .001$)。

一方、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」は、認知経路として「市の広報」と回答した割合が有意に多いことが明らかとなった ($\chi^2(1) = 10.777, p = .001$)。

② 認知経路の傾向（提供会員調査）と増減率の平均

認知経路の傾向（提供会員調査）と増減率について平均値を比較した結果、表 2-I-18 の通り、「民間施設での広報（商業施設等）」「子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知」の増減率平均値が有意に高いことが明らかとなった。

表 2-I-18 認知経路の傾向（提供会員調査）と増減率

		度数	標準偏		自由度	F 値	有意確率	
			平均値	差				
民間施設での広報（商業施設等）	はい	40	115.2	20.6	群間	5.991	.014	*
	いいえ	2,378	106.3	22.9	群内			
子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知	はい	637	108.0	22.5	群間	4.217	.040	*
	いいえ	1,781	105.9	23.0	群内			

†.05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

③ 認知経路の傾向（提供会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

提供会員増減率を「増加した群」と、「減少した群」に分け、認知経路の傾向（提供会員調査）とクロス集計した結果、表 2-I-19 の通り、提供会員が「増加した群」は、「民間施設での広報（商業施設等）」「子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知」を認知経路として回答した割合が有意に高いことが明らかとなった。

表 2-I-19 認知経路の傾向（提供会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

		増減率		P	
		増加	減少		
民間施設での広報（商業施設等）	度数	33	7	.003	**
	割合	2.3	0.7		
	調整済み残差	3.0	-3.0		
子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知	度数	404	233	.019	*
	割合	28.2	23.8		
	調整済み残差	2.4	-2.4		

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

I-3-(2) 提供会員になった理由の傾向（提供会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 提供会員になった理由の傾向（提供会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

「提供会員になった理由」の傾向（提供会員調査）は、「とても効果があった」1点から、「全く効果がなかった」5点までの5件法となっており、点数が低いほど、効果を実感している回答となる。効果について平均値を比較した結果を、表 2-I-20 にまとめている。

「提供会員になった理由」の傾向（提供会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感の平均値を比較した結果、充足している群は、「提供会員になった理由」の傾向として「友人や周りの人に頼まれたから」「自分の視野を広げたいから」と有意に回答していることが明らかとなった。また、「人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから」「地域や社会のことを知りたいから」と回答している有意傾向が明らかとなった。

一方、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」には、有意な項目はなかった。

表 2-I-20 提供会員になった理由の傾向（提供会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

		平均 標準偏			自由度	F 値	有意確率
		度数	値	差			
人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから	充足	128	2.69	1.209	群間 1	3.552	.060 †
	不足	2,765	2.89	1.192			
地域や社会のことを知りたいから	充足	128	2.83	1.080	群間 1	3.003	.083 †
	不足	2,762	3.01	1.160			

友人や周りの人に頼まれたから	充足	128	3.29	1.475	群間	1	6.421	.011	*
	不足	2,765	3.63	1.500	群内	2,891			
自分の視野を広げたいから	充足	129	2.41	1.163	群間	1	5.025	.025	*
	不足	2,765	2.65	1.198	群内	2,892			

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

② 提供会員になった理由の傾向（提供会員調査）と増減率の関連性

「提供会員になった理由」の傾向（提供会員調査）と増減率との関連性の検討については、事前にデータの正規性を確認した上で、Spearman の順位相関係数を使用した。その結果、表 2-I-21 の通り「就労へのステップとしたいから」「仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから」と増減率について、1%水準で有意差が認められた。また、「人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから」「持っている資格を活かしたいから」「友人や周りの人に頼まれたから」「活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから」と増減率について、5%水準で有意差が認められた。さらに、「家族、友人、職場などから評価される、認められるから」「自分の視野を広げたいから」と増減率について有意傾向が認められた。

ただし、相関係数を見ると、直線的な関係を説明できなかった。さらに詳しい分析が必要である。

表 2-I-21 提供会員になった理由の傾向（提供会員調査）と増減率の関連性

	相関係数	
就労へのステップとしたいから	.054	**
仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから	.053	**
人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから	.052	*
持っている資格を活かしたいから	.047	*
友人や周りの人に頼まれたから	.045	*
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから	.041	*
家族、友人、職場などから評価される、認められるから	.035	†
自分の視野を広げたいから	.038	†

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

③ 提供会員になった理由の傾向（提供会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

提供会員増減率を「増加した群」と、「減少した群」に分け、「提供会員になった理由」の傾向（提供会員調査）と平均値の比較をした結果、表 2-I-22 の通りとなった。

提供会員が「増加した群」は、「人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから」、「就労へのステップとしたいから」、「仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから」で有意に回答していることが明らかとなった。また「活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから」、「家族、友人、職場などから評価される、認められるから」、「自分の視野を広げたいから」との回答に有意傾向があることが明らかとなった。

一方、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」には、有意な項目はなかった。

表 2-I-22 提供会員になった理由の傾向（提供会員調査）と提供会員の増減

		度数	平均 値	標準偏 差	自由度	F 値	p
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけたいから	増加	1,414	2.96	1.229	群間 1	3.159	.076 †
	減少	960	3.05	1.240	群内 2,372		
人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから	増加	1,417	2.83	1.188	群間 1	5.024	.025 *
	減少	963	2.94	1.190	群内 2,378		
家族、友人、職場などから評価される、認められるから	増加	1,416	3.82	1.077	群間 1	2.908	.088 †
	減少	958	3.90	1.050	群内 2,372		
就労へのステップとしたいから	増加	1,416	4.04	1.118	群間 1	10.743	.001 *
	減少	960	4.19	1.041	群内 2,374		
自分の視野を広げたいから	増加	1,419	2.59	1.197	群間 1	2.797	.095 †
	減少	963	2.67	1.176	群内 2,380		
仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから	増加	1,417	3.44	1.266	群間 1	8.452	.004 *
	減少	962	3.59	1.219	群内 2,377		

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

I-3-(3) 提供会員になったことで得たものの傾向（提供会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 提供会員になったことで得たものの傾向（提供会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

「提供会員になったことで得たもの」の傾向（提供会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感をクロス集計した結果、「提供会員の確保が出来ていないと感じる群」は、「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」と回答した割合が1%水準で有意に多いことが明らかとなった ($\chi^2(1) = 6.740, p = .009$)。さらに、「援助費をもらえる」と回答した割合が5%水準で有意に多いことが明らかとなった ($\chi^2(1) = 4.176, p = .041$)。

一方、「提供会員の確保が出来ていると感じる群」が、有意に多い項目はなかった。

② 提供会員になったことで得たものの傾向（提供会員調査）と増減率の関連性

「提供会員になったことで得たもの」の傾向（提供会員調査）と増減率との関連性の検討については、事前にデータの正規性を確認した上で、Spearman の順位相関係数を使用した。

その結果、表 2-I-23 の通り「援助費をもらえる」「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」と増減率について、1%水準で有意差が認められた。また、「社会の役に立っていることが実感できる」と増減率について、5%水準で有意差が認められた。ただし、相関係数をみると、直線的な関係を説明できなかった。詳しい分析が必要である。

表 2- I - 23 提供会員になったことで得たもの（提供会員調査）と増減率の関連性

	相関係数	
援助費をもらえる	.067	**
依頼会員に信頼され、やりがいを感じる	.063	**
社会の役に立っていることが実感できる	.050	*

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

③ 提供会員になったことで得たものの傾向（提供会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

提供会員増減率を「増加した群」と、「減少した群」に分け、「提供会員になったことで得たもの」の傾向（提供会員調査）とクロス集計した結果は、表 2- I -24 の通りである。

提供会員が減少した（あるいは変化なし）群は、「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」「援助費をもらえる」と回答した割合が、1%水準で有意に高く、さらに「社会の役に立っていることが実感できる」として回答した割合が、5%水準で有意に高いことが明らかとなった。

一方、提供会員が「増加した群」の割合が有意に高い項目はなかった。

表 2- I -24 提供会員になったことで得たものの傾向（提供会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

		増減率		有意確率	
		増加	減少		
依頼会員に信頼され、やりがいを感じる	度数	1,027	770	<.001	**
	割合	71.8	78.8		
	調整済み残差	-3.9	3.9		
援助費をもらえる	度数	434	347	.008	**
	割合	30.3	35.5		
	調整済み残差	-2.7	2.7		
社会の役に立っていることが実感できる	度数	689	515	.028	*
	割合	48.1	52.7		
	調整済み残差	-2.2	2.2		

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

I - 3 - (4) 依頼会員の満足度の傾向（依頼会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 依頼会員の満足度の傾向（依頼会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

提供会員確保の不足感/充足感の各群と、依頼会員の満足度の平均値を比較した結果、有意差は見られなかった (p=.115)。

② 依頼会員の満足度の傾向（依頼会員調査）と増減率の関連性

依頼会員の満足度（依頼会員調査）と増減率との関連性の検討については、事前にデータの正規性を確認した上で、Spearman の順位相関係数を使用した。

その結果、②依頼会員の満足度の傾向（依頼会員調査）と増減率の間には有意な相関は認めなかった（ $\rho = .032$ 、 $p = .185$ ）。

③ 依頼会員の満足度の傾向（依頼会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

満足度は、「満足している」を「1」、「満足していない」を「4」とする4件法で、平均値が低い方が、満足度が高い結果となる。

提供会員の割合が増加したグループと減少した（変わらない）グループで、依頼会員の満足度の得点の平均値を比較した結果、表 2-I-25 の通り増加しているグループの満足度が有意に高いことが明らかとなった。

表 2-I-25 提供会員が増加・減少グループの依頼会員満足度平均値の比較

		度数	平均値	標準偏差	自由度	F 値	p
提供会員	増加	1,046	1.34	0.544	群間	1	4.695 0.030 *
	減少	700	1.40	0.591	群内	1,744	
	合計	1,746	1.37	0.564	合計	1,745	

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

I-3-(5) 提供会員への意欲の傾向（依頼会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 提供会員への意欲の傾向（依頼会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

提供会員確保の不足感/充足感の各群と、提供会員への意欲の平均値を比較した結果、有意差は見られなかった（ $p = .494$ ）。

② 提供会員への意欲の傾向（依頼会員調査）と増減率の関連性

提供会員への意欲の傾向（依頼会員調査）と増減率との関連性の検討については、事前にデータの正規性を確認した上で、Spearman の順位相関係数を使用した。

その結果、提供会員への意欲の傾向（依頼会員調査）と増減率の間には有意な相関は認めなかった（ $\rho = .019$ 、 $p = .422$ ）。

③ 提供会員への意欲の傾向（依頼会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

提供会員の割合が増加したグループと減少したグループで、提供会員への意欲の平均値を比較した結果、有意差は認められなかった（ $p = .576$ ）。

I-3-(6) 両方会員になった理由の傾向（両方会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 両方会員になった理由の傾向（両方会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

提供会員確保の不足感/充足感の各群と、両方会員になった理由の傾向（両方会員調査）をクロス集計した結果、充足していると感じている群は、「友だちに教えてもらったから」と回答した割合が有意に多いことが明らかとなった ($\chi^2(2) = 8.695, p = .013$)。その他の理由については、有意差は認められなかった。

② 両方会員になった理由の傾向（両方会員調査）と増減率の関連性

両方会員になった理由の傾向（両方会員調査）と増減率の関連性を分析した結果、「無償化の対象になったから」「友人に教えてもらったから」「子どもを地域との関わりで育てたいから」の3つの項目で、「はい」と回答したものが、増減率の平均値が高いという有意な傾向が見られた。その他の理由については、有意差は認められなかった。

表 2-I-26 両方会員になった理由の傾向と増減率の関連性

		度数	平均値	標準偏差		自由度	F 値	p	
無償化の対象になったから	はい	19	118.10	23.281	群間	1	3.142	0.077	†
	いいえ	984	109.24	21.558	群内	1,001			
	合計	1,003	109.41	21.613	合計	1,002			
友人に教えてもらったから	はい	142	112.62	21.918	群間	1	3.668	0.056	†
	いいえ	861	108.88	21.529	群内	1,001			
	合計	1,003	109.41	21.613	合計	1,002			
子どもを地域との関わりで育てたいから	はい	377	110.92	22.793	群間	1	2.976	0.085	†
	いいえ	626	108.50	20.836	群内	1,001			
	合計	1,003	109.41	21.613	合計	1,002			

†.05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

③ 両方会員になった理由の傾向（両方会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループ

両方会員になった理由の傾向（両方会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループ間でクロス集計した結果、全ての項目で有意差は認められなかった。

I-3-(7) 両方会員になったことで得たものの傾向（両方会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 両方会員になったことで得たものの傾向（両方会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

両方会員になったことで得たものの傾向（両方会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感についてクロス集計した結果、有意差は認められなかった。

② 両方会員になったことで得たものの傾向（両方会員調査）と増減率の関連性

両方会員になったことで得たものの傾向（両方会員調査）と増減率の関連性について分析を行ったところ、有意差は認められなかった ($P = .561$)。

③ 両方会員になったことで得たものの傾向（両方会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの比較

両方会員になったことで得たものの傾向（両方会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと減少したグループについてクロス集計した結果、増加しているグループの方が「地域に新しい知り合いができる」（ $\chi^2(1) = 5.011, p = .025$ ）、「育児の経験を活かすことができる」（ $\chi^2(1) = 4.707, p = .030$ ）と回答した割合が有意に多いことが明らかとなった。

I-3-(8) 両方会員の満足度の傾向（両方会員調査）と提供会員確保状況の関係

① 両方会員の満足度の傾向（両方会員調査）と提供会員確保の不足感/充足感

提供会員確保の不足感/充足感の各群と、両方会員の満足度の平均値を比較した結果、有意差は認められなかった（ $p = .255$ ）。

② 両方会員の満足度の傾向（両方会員調査）と増減率の関連性

両方会員の満足度の傾向（両方会員調査）と増減率との関連性の検討については、事前にデータの正規性を確認した上で、Spearman の順位相関係数を使用した。

その結果、両方会員の満足度と増減率とは中等度の有意な相関が認められた（ $\rho = -.069, p = .030$ ）。つまり、提供会員が増加しているセンターほど、両方会員の満足度は高い傾向が見られる。

③ 両方会員の満足度の傾向（両方会員調査）と提供会員の割合が増加したグループと、減少したグループの比較

提供会員の割合が増加したグループと減少したグループの各群で、両方会員の満足度の平均値を比較した結果、有意差は認められなかった（ $p = .215$ ）。

【参考 調査紙における選択肢の詳細】アドバイザー調査（問1-4）

提供会員確保のための工夫のためにやっている内容

<p>A市の広報に掲載 事業内容、提供会員養成講座の案内、会員募集ファミサポ特集、広報のためのイベント、活動風景写真等、市の行政チャンネルにて、広報番組を放送</p>
<p>B. 町内会、地域での広報 ・市町村内回覧板での広報(チラシ、パンフレット、会報誌 等) ・市町村内掲示板、駅構内掲示板、地下鉄通路(ポスターの掲示)</p>
<p>C. 公共施設や公的な行事での広報 コミュニティバス、循環バス(シティバス)への掲示 チラシ、パンフレット、リーフレットの配布、ポスターの掲示(保育園、幼稚園等、保健センター、健診時等病院、コミュニティセンター、公民館、児童館・図書館・子育てひろば・子育て支援センター・保健センター等) 転入・出産の届出時に説明 出張登録会、説明会の実施(地域子育て支援拠点(支援センター)等へ出張、障がい児家族会等へ出張 地域のまつり等でのパネル展やチラシ配布(・公民館まつりに参加し子どもの遊び場提供と啓発活動・福祉まつり、市民活動フェスタ(展示、PR)への参加)</p>
<p>D. 民間施設での広報(商業施設等) チラシ配布(スーパーマーケット、ドラッグストア 等) ポスター掲示(・商業施設、銀行、スーパーマーケット、公衆浴場、市内マンション 等)</p>
<p>E. ホームページ、SNS ・市のHP等にファミサポのページを新設 ・HP等に研修会の日程掲載 ・担当課のSNSにファミサポの行事を掲載等</p>

<p>F. ラジオ、テレビ等 テレビ・ケーブルテレビの放映(ファミサポ紹介番組の放送、ニュース番組の取材) ・ケーブルテレビ経由でのメール配信 ラジオ・地域のFM ラジオでのPR・番組出演 その他・ネット配信、新聞の地方版に講座募集の記事を掲載</p>
<p>G. 口コミ ・サブリーダーからの口コミ ・現依頼・提供会員からの紹介 ・友人・知人への声掛け</p>
<p>H. 子育て関連施設、子育てイベント、会議等での周知 子育て関連施設、イベント時にチラシ、パンフレットを配布、ファミサポの事業説明 ・地区の子育て担当者会議に出席 ・子育てひろばや子育て講座にて出張PR ・子育て支援センター、子育てサロンにて説明 ・子育て関連施設と連携 ・保健師と連携(赤ちゃん訪問事業、健診時等に説明) ・他事業との連携(養育支援訪問事業、子育て家庭相談事業等) ・乳幼児学級、マタニティ教室、新生児等のママ対象学級、両親学級等にて説明 ・毎月子育て相談や親子のふれあい遊びなどイベント実施 ・母子手帳配布時にカードサイズの案内配布 ・自治体の子育てガイドブックに掲載 ・家庭児童相談室からの案内(相談同行) ・孫育て講座でのファミサポの事業紹介 ・子育て支援の講演会にてファミサポデスクを設置、その場で入会受付</p>
<p>I. ボランティア活動の従事者等への働きかけ ボランティア活動の従事者、子育て支援に興味のある方、地域活動やボランティア活動への意識の高い方への働きかけ ・社協行事(ボランティア入門講座、ボランティアリーダー研修等)での事業説明 ・ボランティアセンター・組織での周知(ポスター掲示、マガジンでの事業周知) ・ボランティアセンターと共催で「子育て支援スタッフ講座」の開催 ・ボランティア活動従事者(愛護委員、放課後子ども教室等)へ声掛け、チラシ配布 ・ボランティア情報誌に会員募集について掲載</p>
<p>J. シニア層への働きかけ 周知(事業募集、会員募集) ・シルバー元気塾参加者に対して資料配布、事業説明 ・退職後世代の団体への周知、依頼 ・シニア大学受講生に対して事業紹介 ・高齢者サークルにて登録会の説明 ・保育園、幼稚園等の祖父母向け参観でのPR チラシ、リーフレット、ポスターの配布 ・シルバー人材センターへポスター掲示 ・シニア世代向けのイベント、学習会等 ・シニア世代を対象とした公民館講座でのチラシ配布</p>
<p>K. 民生委員等への事業募集、会員募集の働きかけ ・地域の集まり(自治会合等)に参加 ・民生委員会議等で委員へ事業説明、周知 ・民生委員からの情報収集 ・児童委員 等</p>
<p>L. 保育園・幼稚園・認定こども園・児童館・小中学校保護者への働きかけ ・チラシ、パンフレットを配布 ・学童(学童ルーム入所決定通知にリーフレットを同封)、児童館 ・児童クラブ入会式で送迎協力者等募集 ・PTAにチラシの配布</p>
<p>M. 現在の会員への登録依頼の働きかけ ・事前打合せ時に案内チラシを渡し、依頼会員から両方会員への変更依頼 ・両方会員募集を中心にチラシ作成 ・近況調査を行い、子育てを終えた依頼会員・両方会員に提供会員への変更依頼</p>
<p>N. 講習における工夫 ・提供会員養成講習会の回数増加、会場の分散 ・会場を外部施設にして多くの人数が参加しやすくなった ・託児付き講座の開催 ・講習会より前に「提供会員希望者向け説明会」を開催</p>
<p>O. 講習会・交流会の工夫 講習会の一般公開 ・子育て支援に関心のある一般市民の参加を募る ・講習会、交流会に会員以外の一般市民にも参加を呼びかけ、事業の周知を図っている 会員以外の人にも参加可能な交流会の開催 ・交流会の参加者を会員以外にも広げ、入会につなげる ・会員同士の交流会を実施し、その際会員の方に友人を連れて来てもらう 交流会の開催による親睦 ・会員間、アドバイザーと会員の距離を縮め、良好な関係の中から情報収集 ・交流会を開催し、会員同士の声を聞く</p>

II. 提供会員調査

本章では、提供会員調査について「提供会員になった理由」「提供会員となって得たもの」「多様な背景や考え方を持った家庭へ関わり」と属性（年齢、配偶者の有無、活動年数、就業形態、保有資格）とのクロス集計を行った。

II-1 . 提供会員になった理由と属性（年齢、配偶者の有無、活動年数、就業形態、保有資格）

II-1-（1）年齢との関連性

① 関連性の検討

「提供会員になった理由」と年齢との関連性の検討については、事前にデータの正規性を確認した上で、Spearman の順位相関係数を使用した。

「提供会員になった理由」の回答は、「あてはまる」～「あてはまらない」の5件法で、「あてはまる」方が点数が低くなっている。また、年齢は、30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の選択肢があり、点数が高いほど、高齢になっている。

Spearman の順位相関係数を算出した結果、1%水準の有意差が見られたもので、「提供会員になった理由」として、「別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから」「孫のような存在が身近に欲しかったから」は、年齢の高さとゆるやかな関連性が見られた。しかし、その他、多くの有意差はあるものの、直線的な関係では説明できないものばかりであった。

表 2-II-1 提供会員になった理由と年齢との関連性

	ρ	P	
収入になるから	0.199	<.001	**
就労へのステップとしたいから	0.185	<.001	**
子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから	0.174	<.001	**
仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから	0.102	<.001	**
自分の視野を広げたいから	0.083	<.001	**
子育て経験が活かせるから	0.068	<.001	**
家族、友人、職場などから評価される、認められるから	0.065	<.001	**
友人や周りの人に頼まれたから	0.047	0.007	*
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけたいから	0.035	0.042	*
多くの人と知り合いたい、新しい人と出会いたいから	-0.038	0.026	*
地域や社会に恩返しをしたいから	-0.11	<.001	**
生きがいになるものがほしかったから	-0.149	<.001	**
時間に余裕ができたから	-0.176	<.001	**
別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから	-0.289	<.001	**
孫のような存在が身近に欲しかったから	-0.309	<.001	**

② 「子育て世代（40歳代まで）」と「子育てを終えた世代（50歳代以降）」の比較

「提供会員になった理由」と年齢の関係について、もう少し詳しく検討したい。

まず、提供会員の年齢は、表2-II-2の通り、8割を超える回答が、50歳以上である。

第一子出産年齢を30.7歳（厚労省令和3年度 出生に関する統計の概況）と仮定すると、40歳代には子育てが終わることとなる。

表 2-II-2 提供会員の年齢

	度数	割合 (%)	割合の合計	分類
30歳未満	16	0.5		
30歳代	94	2.8	19.2%	子育て世代
40歳代	541	15.9		
50歳代	1,043	30.7		
60歳代	1,150	33.9	80.7%	子育て終了世代
70歳代以上	543	16		

そこでここでは、提供会員の回答を、子育て世代（40歳代まで、表では「子育て中」と略す）と、子育てを終えた世代（50歳代以降、表では「子育て終了」と略す）に分け、「提供会員になった理由」とクロス集計を行った。

その結果、表2-II-3に示すように、「地域や社会に恩返しをしたいから」「生きがいになるものがほしかったから」「子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから」「家族、友人、職場などから評価される、認められるから」「時間に余裕ができたから」「収入になるから」「別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから」「就労へのステップとしたいから」「友人や周りの人に頼まれたから」「自分の視野を広げたいから」「子育て経験が活かせるから」「孫のような存在が身近に欲しかったから」という12の項目に、1%水準で有意な差が見られた。

表 2-II-3 提供会員になった理由と「子育て世代（40歳代まで）」と「子育てを終えた世代（50歳代以降）」の比較

提供会員になった理由	値	自由度	有意差
地域や社会に恩返しをしたいから	32.621 ^a	4	<.000 **
生きがいになるものがほしかったから	26.360 ^a	4	<.000 **
子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから	71.934 ^a	4	<.000 **
家族、友人、職場などから評価される、認められるから	18.059 ^a	4	<.001 **
時間に余裕ができたから	45.220 ^a	4	<.000 **
収入になるから	104.737 ^a	4	<.000 **
別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから	134.052 ^a	4	<.000 **
就労へのステップとしたいから	105.883 ^a	4	<.000 **
友人や周りの人に頼まれたから	15.767 ^a	4	<.003 **
自分の視野を広げたいから	19.017 ^a	4	<.001 **
子育て経験が活かせるから	9.477 ^a	4	<.050 *
孫のような存在が身近に欲しかったから	212.836 ^a	4	<.000 **

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

次に有意差が見られた項目の中で、「子育て世代」あるいは「子育てが終わった世代」のどちらの特徴として認められるかについて、表2-II-4の調整済み残差の数値（絶対値1.96以上）によって明らかとなった。

「子育て世代」が「子育てが終わった世代」と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから」「家族、友人、職場などから評価される、認められるから」「収入になるから」「就労へのステップとしたいから」「自分の視野を広げたいから」の5項目である。

一方「子育てが終わった世代」が「子育て世代」と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「地域や社会に恩返しをしたいから」「生きがいになるものがほしかったから」「時間に余裕ができたから」「別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから」「孫のような存在が身近に欲しかったから」の5項目であった。

また「子育てが終わった世代」が「子育て世代」と比較して「あてはまらない」と回答した割合が有意に多いのは、「友人や周りの人に頼まれたから」であり、さらに「子育てが終わった世代」が「子育て世代」と比較して「あまりあてはまらない」と回答した割合が有意に多いのは、「子育て経験が活かせるから」となった。

以上のことから、それぞれの世代によって、「提供会員になった理由」に違いがあることが明らかとなった。

表2-II-4 提供会員になった理由と「子育て世代(40歳代まで)」と「子育てを終えた世代(50歳代以降)」の特徴

理由①地域や社会に恩返しをしたいから×世代					理由②生きがいになるものがほしかったから×世代				
		子育て	子育て終	合計			子育て	子育て終	合計
		中	了				中	了	
あてはまる	度数	148	915	1,063	あてはまる	度数	72	446	518
	割合	23.0%	33.6%	31.6%		割合	11.2%	16.5%	15.5%
	調整済	-5.2	5.2			調整済	-3.3	3.3	
	み残差					み残差			
ややあてはまる	度数	259	968	1,227	ややあてはまる	度数	191	923	1,114
	割合	40.2%	35.5%	36.4%		割合	29.7%	34.2%	33.3%
	調整済	2.2	-2.2			調整済	-2.2	2.2	
	み残差					み残差			
どちらともいえない	度数	165	551	716	どちらともいえない	度数	198	766	964
	割合	25.6%	20.2%	21.3%		割合	30.8%	28.4%	28.8%
	調整済	3.0	-3.0			調整済	1.2	-1.2	
	み残差					み残差			
あまりあてはまらない	度数	53	179	232	あまりあてはまらない	度数	100	320	420
	割合	8.2%	6.6%	6.9%		割合	15.6%	11.8%	12.6%
	調整済	1.5	-1.5			調整済	2.5	-2.5	
	み残差					み残差			
あてはまらない	度数	19	111	130	あてはまらない	度数	82	246	328
	割合	3.0%	4.1%	3.9%		割合	12.8%	9.1%	9.8%

	調整済 み残差	-1.3	1.3	
合計	度数	644	2,724	3,368
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

	調整済 み残差	2.8	-2.8	
合計	度数	643	2,701	3,344
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由③子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから×世代

		子育て終		
		子育て中	了	合計
あてはまる	度数	363	1,096	1,459
	割合	56.1%	40.5%	43.5%
	調整済 み残差	7.2	-7.2	
ややあてはまる	度数	181	775	956
	割合	28.0%	28.7%	28.5%
	調整済 み残差	-0.3	0.3	
どちらともいえない	度数	54	378	432
	割合	8.3%	14.0%	12.9%
	調整済 み残差	-3.8	3.8	
あまりあてはまらない	度数	25	212	237
	割合	3.9%	7.8%	7.1%
	調整済 み残差	-3.5	3.5	
あてはまらない	度数	24	243	267
	割合	3.7%	9.0%	8.0%
	調整済 み残差	-4.5	4.5	
合計	度数	647	2,704	3,351
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由④家族、友人、職場などから評価される、認められるから×世代

		子育て	子育て終	合計
		中	了	
あてはまる	度数	23	51	74
	割合	3.6%	1.9%	2.2%
	調整済 み残差	2.6	-2.6	
ややあてはまる	度数	64	203	267
	割合	10.0%	7.5%	8.0%
	調整済 み残差	2.0	-2.0	
どちらともいえない	度数	194	775	969
	割合	30.2%	28.8%	29.0%
	調整済 み残差	0.7	-0.7	
あまりあてはまらない	度数	165	657	822
	割合	25.7%	24.4%	24.6%
	調整済 み残差	0.7	-0.7	
あてはまらない	度数	196	1,008	1,204
	割合	30.5%	37.4%	36.1%
	調整済 み残差	-3.3	3.3	
合計	度数	642	2,694	3,336
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由⑤時間に余裕ができたから×世代

		子育て	子育て終	合計
		中	了	

理由⑥収入になるから×世代

		子育て	子育て終	合計
		中	了	

あてはまる	度数	150	882	1,032
	割合	23.2%	32.4%	30.7%
	調整済み	-4.6	4.6	
	残差			
ややあてはまる	度数	243	1,092	1,335
	割合	37.6%	40.1%	39.6%
	調整済み	-1.2	1.2	
	残差			
どちらともいえない	度数	116	359	475
	割合	18.0%	13.2%	14.1%
	調整済み	3.1	-3.1	
	残差			
あまりあてはまらない	度数	61	213	274
	割合	9.4%	7.8%	8.1%
	調整済み	1.3	-1.3	
	残差			
あてはまらない	度数	76	175	251
	割合	11.8%	6.4%	7.5%
	調整済み	4.6	-4.6	
	残差			
合計	度数	646	2,721	3,367
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由⑦別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから×世代

		子育て中	子育て終了	合計
あてはまる	度数	45	580	625
	割合	7.0%	21.5%	18.7%
	調整済み	-8.4	8.4	
	残差			
ややあてはまる	度数	63	531	594
	割合	9.8%	19.6%	17.8%
	調整済み	-5.8	5.8	
	残差			
どちらともいえない	度数	157	471	628
	割合	24.5%	17.4%	18.8%
	調整済み	4.1	-4.1	
	残差			

あてはまる	度数	76	120	196
	割合	11.8%	4.4%	5.9%
	調整済み	7.1	-7.1	
	残差			
ややあてはまる	度数	181	509	690
	割合	28.0%	18.8%	20.6%
	調整済み	5.2	-5.2	
	残差			
どちらともいえない	度数	151	605	756
	割合	23.4%	22.4%	22.6%
	調整済み	0.5	-0.5	
	残差			
あまりあてはまらない	度数	118	608	726
	割合	18.3%	22.5%	21.7%
	調整済み	-2.4	2.4	
	残差			
あてはまらない	度数	120	859	979
	割合	18.6%	31.8%	29.3%
	調整済み	-6.6	6.6	
	残差			
合計	度数	646	2,701	3,347
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由⑧就労へのステップとしたいから×世代

		子育て中	子育て終了	
あてはまる	度数	34	29	63
	割合	5.3%	1.1%	1.9%
	調整済み	7.1	-7.1	
	残差			
ややあてはまる	度数	81	169	250
	割合	12.6%	6.3%	7.5%
	調整済み	5.5	-5.5	
	残差			
どちらともいえない	度数	149	516	665
	割合	23.2%	19.1%	19.9%
	調整済み	2.3	-2.3	
	残差			

あまり	度数	96	298	394
あては	割合	15.0%	11.0%	11.8%
まらな	調整済	2.8	-2.8	
い	み残差			
あては	度数	280	823	1,103
まらな	割合	43.7%	30.4%	33.0%
い	調整済	6.4	-6.4	
	み残差			
合計	度数	641	2,703	3,344
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

あまり	度数	126	503	629
あては	割合	19.6%	18.7%	18.8%
まらな	調整済	0.6	-0.6	
い	み残差			
あては	度数	252	1,480	1,732
まらな	割合	39.3%	54.9%	51.9%
い	調整済	-7.1	7.1	
	み残差			
合計	度数	642	2,697	3,339
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由⑨友人や周りの人に頼まれたから×世代

		子育て中	子育て終了	合計
あては	度数	93	360	453
まる	割合	14.4%	13.3%	13.5%
	調整済	0.7	-0.7	
	み残差			
ややあ	度数	105	413	518
てはま	割合	16.3%	15.3%	15.5%
る	調整済	0.6	-0.6	
	み残差			
どちら	度数	104	322	426
ともい	割合	16.1%	11.9%	12.7%
えない	調整済	2.9	-2.9	
	み残差			
あまり	度数	87	327	414
あては	割合	13.5%	12.1%	12.4%
まらな	調整済	1.0	-1.0	
い	み残差			
あては	度数	255	1,279	1,534
まらな	割合	39.6%	47.4%	45.9%
い	調整済	-3.5	3.5	
	み残差			
合計	度数	644	2,701	3,345
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由⑩自分の視野を広げたいから×世代

		子育て中	子育て終了	合計
あては	度数	137	426	563
まる	割合	21.3%	15.8%	16.8%
	調整済	3.4	-3.4	
	み残差			
ややあ	度数	244	964	1,208
てはま	割合	37.9%	35.7%	36.1%
る	調整済	1.1	-1.1	
	み残差			
どちら	度数	156	711	867
ともい	割合	24.2%	26.3%	25.9%
えない	調整済	-1.1	1.1	
	み残差			
あまり	度数	54	289	343
あては	割合	8.4%	10.7%	10.2%
まらな	調整済	-1.7	1.7	
い	み残差			
あては	度数	53	313	366
まらな	割合	8.2%	11.6%	10.9%
い	調整済	-2.4	2.4	
	み残差			
合計	度数	644	2,703	3,347
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由①子育て経験が活かせるから×世代

		子育て中	子育て終了	合計
あてはまる	度数	260	999	1,259
	割合	40.2%	36.8%	37.4%
	調整済み残差	1.6	-1.6	
ややあてはまる	度数	253	1,090	1,343
	割合	39.1%	40.1%	39.9%
	調整済み残差	-0.5	0.5	
どちらともいえない	度数	74	368	442
	割合	11.4%	13.6%	13.1%
	調整済み残差	-1.4	1.4	
あまりあてはまらない	度数	14	104	118
	割合	2.2%	3.8%	3.5%
	調整済み残差	-2.1	2.1	
あてはまらない	度数	46	154	200
	割合	7.1%	5.7%	5.9%
	調整済み残差	1.4	-1.4	
合計	度数	647	2,715	3,362
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由②孫のような存在が身近に欲しかったから×世代

		子育て中	子育て終了	合計
あてはまる	度数	10	205	215
	割合	1.6%	7.6%	6.4%
	調整済み残差	-5.6	5.6	
ややあてはまる	度数	34	468	502
	割合	5.3%	17.3%	15.0%
	調整済み残差	-7.7	7.7	
どちらともいえない	度数	109	686	795
	割合	17.0%	25.4%	23.8%
	調整済み残差	-4.5	4.5	
あまりあてはまらない	度数	92	460	552
	割合	14.3%	17.0%	16.5%
	調整済み残差	-1.7	1.7	
あてはまらない	度数	398	884	1,282
	割合	61.9%	32.7%	38.3%
	調整済み残差	13.7	-13.7	
合計	度数	643	2,703	3,346
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

理由③仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから×世代

		子育て中	子育て終了	合計
あてはまる	度数	59	176	235
	割合	9.2%	6.5%	7.0%
	調整済み残差	2.4	-2.4	
ややあてはまる	度数	130	390	520
	割合	20.2%	14.4%	15.6%
	調整済み残差	3.6	-3.6	
どちらともいえない	度数	191	768	959
	割合	29.7%	28.4%	28.7%
	調整済み残差	0.6	-0.6	

あまりあてはまらない	度数	114	525	639
	割合	17.7%	19.4%	19.1%
	調整済み残差	-1.0	1.0	
あてはまらない	度数	149	841	990
	割合	23.2%	31.1%	29.6%
	調整済み残差	-4.0	4.0	
合計	度数	643	2,700	3,343
	割合	100.0%	100.0%	100.0%

II-1-(2) 配偶者の有無

配偶者の有無の回答は、表 2-II-5 の通り、配偶者「あり」が、約 9 割と多い。ここでは、「提供会員になった理由」と配偶者の有無について、クロス集計を行った。

その結果、5%水準で有意差が見られた項目の中で、配偶者の有無の特徴として認められるものだけ、表 2-II-6 から表 2-II-16 の調整済み残差の数値（絶対値 1.96 以上）によって明らかにした。

配偶者の「あり」が、配偶者「なし」と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから」の 1 項目であった。また配偶者の「あり」が、配偶者「なし」と比較して「ややあてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「市の公的な事業だから」「時間に余裕ができたから」「子育て経験が活かせるから」の 3 項目であった。

他方、配偶者の「あり」が、配偶者「なし」と比較して「あまりあてはまらない」と回答した割合が有意に多いのは、「相手の気持ちや考えを理解する力を身につけたいから」「孫のような存在が身近に欲しかったから」の 2 項目であった。さらに配偶者の「あり」が、配偶者「なし」と比較して「あてはまらない」と回答した割合が有意に多いのは、「生きがいになるものがほしかったから」「別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから」の 2 項目であった。

配偶者の「なし」が、配偶者「あり」と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから」「生きがいになるものがほしかったから」「相手の気持ちや考えを理解する力を身につけたいから」「時間に余裕ができたから」「地域や社会のことを知りたいから」「別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから」「孫のような存在が身近に欲しかったから」の 7 項目であった。

配偶者の「なし」が、配偶者「あり」と比較して「あまりあてはまらない」と回答した割合が有意に多いのは、「市の公的な事業だから」「時間に余裕ができたから」の 2 項目であった。また配偶者の「なし」が、配偶者「あり」と比較して「あてはまらない」と回答した割合が有意に多いのは、「困っている人の手助けをしたい、人の役に立ちたいから」「子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから」の 2 項目であった。

以上のことから、配偶者の有無で、「提供会員になった理由」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-5 配偶者の有無

	度数	割合
あり	2,943	86.8
なし	441	13.0

表2-II-6 困っている人の手助けをしたい、人の役に立ちたいから × 配偶者の有無

		配偶者の有無		p
		あり	なし	
あてはまる	度数	1,919	293	0.033
	割合	65.50%	66.90%	
	調整済み			
	残差	-0.6	0.6	
ややあてはまる	度数	886	120	
	割合	30.20%	27.40%	
	調整済み			
	残差	1.2	-1.2	
どちらともいえない	度数	99	14	
	割合	3.40%	3.20%	
	調整済み			
	残差	0.2	-0.2	
あまりあてはまらない	度数	18	6	
	割合	0.60%	1.40%	
	調整済み			
	残差	-1.8	1.8	
あてはまらない	度数	9	5	
	割合	0.30%	1.10%	
	調整済み			
	残差	-2.5	2.5	

表2-II-8 生きがいになるものがほしかったから × 配偶者の有無

		配偶者の有無		p
		あり	なし	
あてはまる	度数	428	90	0.001
	割合	14.70%	20.80%	
	調整済み			
	残差	-3.3	3.3	
ややあてはまる	度数	960	154	
	割合	33.00%	35.60%	
	調整済み			
	残差	-1.1	1.1	
	度数	845	118	
	割合	29.00%	27.30%	

表2-II-7 活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから × 配偶者の有無

		配偶者の有無		p
		あり	なし	
あてはまる	度数	327	64	0.084
	割合	11.20%	14.80%	
	調整済み			
	残差	-2.2	2.2	
ややあてはまる	度数	724	118	
	割合	24.90%	27.30%	
	調整済み			
	残差	-1.1	1.1	
どちらともいえない	度数	866	124	
	割合	29.80%	28.70%	
	調整済み			
	残差	0.5	-0.5	
あまりあてはまらない	度数	543	65	
	割合	18.70%	15.00%	
	調整済み			
	残差	1.8	-1.8	
あてはまらない	度数	447	61	
	割合	15.40%	14.10%	
	調整済み			
	残差	0.7	-0.7	

表2-II-9 子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから × 配偶者の有無

		配偶者の有無		p
		あり	なし	
あてはまる	度数	1,297	162	0
	割合	44.50%	37.40%	
	調整済み			
	残差	2.8	-2.8	
ややあてはまる	度数	844	111	
	割合	28.90%	25.60%	
	調整済み			
	残差	1.4	-1.4	
	度数	371	61	
	割合	12.70%	14.10%	

どちらともいえない	調整済み	0.8	-0.8
	残差		
あまりあてはまらない	度数	376	44
	割合	12.90%	10.20%
	調整済み	1.6	-1.6
	残差		
あてはまらない	度数	301	27
	割合	10.30%	6.20%
	調整済み	2.7	-2.7
	残差		

表2-II-10 市の公的な事業だから ×配偶者の有無

	配偶者の有無			p
	あり	なし		
あてはまる	度数	424	72	0.022
	割合	14.60%	16.70%	
	調整済み	-1.1	1.1	
	残差			
ややあてはまる	度数	830	96	
	割合	28.50%	22.20%	
	調整済み	2.7	-2.7	
	残差			
どちらともいえない	度数	830	119	
	割合	28.50%	27.50%	
	調整済み	0.4	-0.4	
	残差			
あまりあてはまらない	度数	404	78	
	割合	13.90%	18.10%	
	調整済み	-2.3	2.3	
	残差			
あてはまらない	度数	422	67	
	割合	14.50%	15.50%	
	調整済み	-0.6	0.6	
	残差			

どちらともいえない	調整済み	-0.8	0.8
	残差		
あまりあてはまらない	度数	193	44
	割合	6.60%	10.20%
	調整済み	-2.7	2.7
	残差		
あてはまらない	度数	212	55
	割合	7.30%	12.70%
	調整済み	-3.9	3.9
	残差		

表2-II-11 人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから ×配偶者の有無

	配偶者の有無			p
	あり	なし		
あてはまる	度数	360	81	0.001
	割合	12.40%	18.80%	
	調整済み	-3.7	3.7	
	残差			
ややあてはまる	度数	784	126	
	割合	26.90%	29.20%	
	調整済み	-1	1	
	残差			
どちらともいえない	度数	937	128	
	割合	32.20%	29.60%	
	調整済み	1.1	-1.1	
	残差			
あまりあてはまらない	度数	472	54	
	割合	16.20%	12.50%	
	調整済み	2	-2	
	残差			
あてはまらない	度数	361	43	
	割合	12.40%	10.00%	
	調整済み	1.4	-1.4	
	残差			

表 2-II-12 時間に余裕ができたから × 配偶者の有無

	配偶者の有無			p
	あり	なし		
	度数	862	170	0
あてはま る	割合	29.40%	38.90%	
	調整済み 残差	-4	4	
	度数	1,193	141	
ややあて はまる	割合	40.70%	32.30%	
	調整済み 残差	3.4	-3.4	
	度数	421	54	
どちらと もいえな い	割合	14.40%	12.40%	
	調整済み 残差	1.1	-1.1	
	度数	245	29	
あまりあ てはまら ない	割合	8.40%	6.60%	
	調整済み 残差	1.2	-1.2	
	度数	208	43	
あてはま らない	割合	7.10%	9.80%	
	調整済み 残差	-2	2	

表 2-II-14 別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから × 配偶者の有無

	配偶者の有無			p
	あり	なし		
	度数	520	105	0.006
あてはま る	割合	17.90%	24.40%	
	調整済み 残差	-3.3	3.3	
	度数	509	85	
ややあて はまる	割合	17.50%	19.80%	
	調整済み 残差	-1.2	1.2	
	度数	554	73	

表 2-II-13 地域や社会のことを知りたいから × 配偶者の有無

	配偶者の有無			p
	あり	なし		
	度数	240	53	0.016
あてはま る	割合	8.20%	12.40%	
	調整済み 残差	-2.8	2.8	
	度数	803	133	
ややあて はまる	割合	27.60%	31.00%	
	調整済み 残差	-1.5	1.5	
	度数	963	127	
どちらと もいえな い	割合	33.10%	29.60%	
	調整済み 残差	1.4	-1.4	
	度数	514	64	
あまりあ てはまら ない	割合	17.70%	14.90%	
	調整済み 残差	1.4	-1.4	
	度数	391	52	
あてはま らない	割合	13.40%	12.10%	
	調整済み 残差	0.7	-0.7	

表 2-II-15 子育て経験が活かせるから × 配偶者の有無

	配偶者の有無			p
	あり	なし		
	度数	1,108	150	>.000
あてはま る	割合	37.80%	34.90%	
	調整済み 残差	1.2	-1.2	
	度数	1,197	145	
ややあて はまる	割合	40.90%	33.70%	
	調整済み 残差	2.8	-2.8	
	度数	391	51	

どちらと	割合	19.00%	17.00%
もいえな	調整済み		
い	残差	1	-1
あまりあ	度数	349	45
てはまら	割合	12.00%	10.50%
ない	調整済み		
	残差	0.9	-0.9
	度数	981	122
あてはま	割合	33.70%	28.40%
らない	調整済み		
	残差	2.2	-2.2

どちらと	割合	13.30%	11.90%
もいえな	調整済み		
い	残差	0.9	-0.9
あまりあ	度数	99	19
てはまら	割合	3.40%	4.40%
ない	調整済み		
	残差	-1.1	1.1
	度数	135	65
あてはま	割合	4.60%	15.10%
らない	調整済み		
	残差	-8.6	8.6

表2-II-16 孫のような存在が身近に欲しかったから ×
配偶者の有無

		配偶者の有無		p
		あり	なし	
	度数	176	39	0.012
あてはま	割合	6.00%	9.00%	
る	調整済み			
	残差	-2.4	2.4	
	度数	430	71	
ややあて	割合	14.80%	16.50%	
はまる	調整済み			
	残差	-0.9	0.9	
	度数	680	115	
どちらと	割合	23.30%	26.70%	
もいえな	調整済み			
い	残差	-1.5	1.5	
	度数	494	57	
あまりあ	割合	17.00%	13.20%	
てはまら	調整済み			
ない	残差	2	-2	
	度数	1,133	149	
あてはま	割合	38.90%	34.60%	
らない	調整済み			
	残差	1.7	-1.7	

II-1-(3) 活動年数

① 提供会員になった理由と活動年数の関連性

活動年数の回答は、表2-II-17の通り、5年以上が、約6割と多い。

「提供会員になった理由」と活動年数との関連性の検討については、事前にデータの正規性を確認した上で、Spearmanの順位相関係数を使用した。

Spearmanの順位相関係数を算出した結果、5%水準の有意差が見られたものである。しかし、相関係数を見ると直線的な関係では説明できないものばかりであった。

表2-II-17 活動年数

	度数	割合
1年未満	311	9.2
1年以上3年未満	542	16.0
3年以上5年未満	584	17.2
5年以上	1,939	57.2

表2-II-18 提供会員になった理由と経験年数の関連性

	ρ	p	
収入になるから	0.199	>.000	**
就労へのステップとしたいから	0.185	>.000	**
子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから	0.174	>.000	**
仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから	0.102	>.000	**
自分の視野を広げたいから	0.083	>.000	**
子育て経験が活かせるから	0.068	>.000	**
家族、友人、職場などから評価される、認められるから	0.065	>.000	**
友人や周りの人に頼まれたから	0.047	0.007	**
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから	0.035	0.042	*
多くの人と知り合いたい、新しい人と出たいから	-0.038	0.026	*
地域や社会に恩返しをしたいから	-0.11	>.000	**
生きがいのなるものがましかったから	-0.149	>.000	**
時間に余裕ができたから	-0.176	>.000	**
別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから	-0.289	>.000	**
孫のような存在が身近に欲しかったから	-0.309	>.000	**

② 提供会員になった理由と活動年数のクロス

詳細を分析するために、「提供会員になった理由」と活動年数について、活動年数を5年以上と5年未満に分け、多重比較を行った。「提供会員になった理由」の回答は、「あてはまる」～「あてはまらない」の5件法で、「あてはまる」方の点数が低くなっている。つまり、平均値が低い方が、「あてはまる」と回答している回答が多いということである。

その結果、活動年数5年以上が、5年未満よりも「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した項目は、表2-II-19の通り、「楽しそう、子どもが好きだから」「子育て経験が活かせるから」「子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから」の3項目で、いずれも1%水準で有意な平均値であった。

一方、活動年数5年未満が、5年以上よりも「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した項目は、表2-II-20の通り、「地域や社会に恩返しをしたいから」が、1%水準で有意な平均値であり、「児童虐待や子育ての孤立など、社会問題の解決に役立ちたいから」は、5%水準で有意な平均値であった。

ただ、平均値が2を超えると、3（どちらもとれない）を選択している回答も含んでくるため、活動年数5年以上の方が、「提供会員になった理由」としては「あてはまる」に回答している数が多いと判断できる。

表2-II-19 提供会員になった理由×活動年数（5年以上の方があてはまる）

		度数	平均 値	標準 偏差	自由		F 値	P
					度	度		
楽しそう、子どもが好きだから	5年以上	1,924	1.51	0.782	1	9.389	0.002	**
	5年未満	1,427	1.6	0.805	3,349			
子育て経験が活かせるから	5年以上	1,924	1.9	1.012	1	39.787	>.000	**
	5年未満	1,428	2.14	1.167	3,350			
子育てに関して、自分と同じような状況に置 かれている人の手助けをしたいから	5年以上	1,917	2.02	1.213	1	8.768	0.003	**
	5年未満	1,425	2.15	1.295	3,340			

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

表2-II-20 提供会員になった理由×活動年数（5年未満の方があてはまる）

		度数	平均 値	標準 偏差	自由		F 値	P
					度	度		
地域や社会に恩返しをしたいから	5年以上	1,926	2.19	1.097	1	6.19	0.013	**
	5年未満	1,432	2.1	1.01	3,356			
児童虐待や子育ての孤立など、社会問題の解 決に役立ちたいから	5年以上	1,921	2.44	1.214	1	4.088	0.043	*
	5年未満	1,420	2.36	1.146	3,339			

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

II-1-(4) 就業形態

「提供会員になった理由」と就業形態について、就業形態の選択肢は、「無職」「正社員・正規職員」「パート・アルバイト・契約・臨時・嘱託」「派遣社員」「請負社員」「自営業主、自由業者」「家族従業者」「内職」「経営者、役員」「上記以外」という10項目を選択する形となっている。ここでは、雇用形態によって、どのような違いがあるのか明らかにするために、上記を「正規雇用」「非正規雇用」「無職」の3つに分類し、その他を除外して多重比較を行った。

その結果、表2-II-21の通りとなっている。先にも述べたが、「提供会員になった理由」の回答は、「あてはまる」～「あてはまらない」の5件法で、「あてはまる」方が点数が低くなっている。よって表2-II-21では、平均値の差(I-J)が「-」の項目が、より「あてはまる」に近い回答ということになる。

「正規雇用」が、他の群と比較して「あてはまる」と多く回答したものは、以下の2項目であった。一つ目は、「友人や周りの人に頼まれたから」で、「正規雇用」「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多かった。二つ目は、「仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから」で、「正規雇用」「非正規雇用」は「無職」より、「あてはまる」の回答が多かった。逆に、「時間に余裕ができたから」は、「正規雇用」は、「非正規雇用」「無職」よりも「あてはまらない」が多い結果となった。

また、「非正規雇用」が、他の群と比較して「あてはまる」と多く回答したものは、以下の12項目であった。「友人や周りの人に頼まれたから」「正規雇用」「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多かった。「仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから」は、「正規雇用」「非正規雇用」は「無職」より、「あてはまる」の回答が多かった。「多くの人と知り合いたい、新しい人と出たいから」については、「非正規雇用」は「正規雇用」よりも「あてはまる」の回答が多い。「活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つきたいから」「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多い。「子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから」は、「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多い。「家族、友人、職場などから評価される、認められるから」は、「正規雇用」「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多い。「子育て経験が活かせるから」「非正規雇用」は「正規雇用」「無職」よりも「あてはまる」の回答が多く、「無職」は「正規雇用」よりも「あてはまる」の回答が多い。「自分の視野を広げたいから」については、「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多い。「就労へのステップとしたいから」は、「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多い。「持っている資格を活かしたいから」は、「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多い。「収入になるから」は、「非正規雇用」は「無職」よりも「あてはまる」の回答が多い。「時間に余裕ができたから」は、「非正規雇用」は「正規雇用」よりも「あてはまる」の回答が多い。

さらに、「無職」が、他の群と比較して「あてはまる」と多く回答したものは、以下の4項目であった。「時間に余裕ができたから」は、「無職」は、「非正規雇用」「正規雇用」よりも「あてはまる」の回答が多い。「別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから」について、「無職」は、「正規雇用」「非正規雇用」はよりも「あてはまる」の回答が多い。「生きがいになるものがほしかったから」は、「無職」は、「正規雇用」「非正規雇用」よりも「あてはまる」の回答が多い。「孫のような存在が身近に欲しかったから」は、「無職」は、「正規雇用」「非正規雇用」はよりも「あてはまる」の回答が多い。

表 2-II-21 提供会員になった理由と就業形態

従属変数	平均値の差		有意確率	95% 信頼区間			
	(I-J)	標準誤差		下限	上限		
多くの人と知り合いたい、新しい人と出たいから	正規雇用	非正規雇用	.284*	0.105	0.019	0.04	0.53
		無職	0.245	0.105	0.052	0.00	0.49
多くの人と知り合いたい、新しい人と出たいから	非正規雇用	正規雇用	-.284*	0.105	0.019	-0.53	-0.04
		無職	-0.039	0.042	0.625	-0.14	0.06
	無職	正規雇用	-0.245	0.105	0.052	-0.49	0.00
		非正規雇用	0.039	0.042	0.625	-0.06	0.14
	正規雇用	非正規雇用	0.173	0.114	0.280	-0.09	0.44

活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけたいから	無職		-0.050	0.114	0.900	-0.32	0.22
	非正規雇用	正規雇用	-0.173	0.114	0.280	-0.44	0.09
	無職		-.224*	0.046	0.000	-0.33	-0.12
	無職	正規雇用	0.050	0.114	0.900	-0.22	0.32
	無職	非正規雇用	.224*	0.046	0.000	0.12	0.33
	正規雇用	非正規雇用	0.043	0.099	0.899	-0.19	0.28
地域や社会に恩返しをしたいから	無職		0.111	0.099	0.503	-0.12	0.34
	非正規雇用	正規雇用	-0.043	0.099	0.899	-0.28	0.19
	無職		0.068	0.040	0.202	-0.03	0.16
	無職	正規雇用	-0.111	0.099	0.503	-0.34	0.12
	無職	非正規雇用	-0.068	0.040	0.202	-0.16	0.03
	正規雇用	非正規雇用	0.217	0.108	0.108	-0.04	0.47
生きがいになるものがほしかったから	無職		.389*	0.108	0.001	0.14	0.64
	非正規雇用	正規雇用	-0.217	0.108	0.108	-0.47	0.04
	無職		.172*	0.043	0.000	0.07	0.27
	無職	正規雇用	-.389*	0.108	0.001	-0.64	-0.14
	無職	非正規雇用	-.172*	0.043	0.000	-0.27	-0.07
	正規雇用	非正規雇用	-0.020	0.114	0.983	-0.29	0.25
子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから	無職		-0.252	0.115	0.074	-0.52	0.02
	非正規雇用	正規雇用	0.020	0.114	0.983	-0.25	0.29
	無職		-.231*	0.046	0.000	-0.34	-0.12
	無職	正規雇用	0.252	0.115	0.074	-0.02	0.52
	無職	非正規雇用	.231*	0.046	0.000	0.12	0.34
	正規雇用	非正規雇用	-0.061	0.117	0.861	-0.33	0.21
市の公的な事業だから	無職		-0.030	0.117	0.965	-0.31	0.25
	非正規雇用	正規雇用	0.061	0.117	0.861	-0.21	0.33
	無職		0.031	0.047	0.786	-0.08	0.14
	無職	正規雇用	0.030	0.117	0.965	-0.25	0.31
	無職	非正規雇用	-0.031	0.047	0.786	-0.14	0.08
	正規雇用	非正規雇用	0.090	0.110	0.690	-0.17	0.35
人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を	無職		-0.004	0.111	0.999	-0.26	0.26
	非正規雇用	正規雇用	-0.090	0.110	0.690	-0.35	0.17
	無職		-0.095	0.044	0.081	-0.20	0.01
	無職	正規雇用	0.004	0.111	0.999	-0.26	0.26

身に付けた いから		非正規雇用	0.095	0.044	0.081	-0.01	0.20
家族、友 人、職場な どから評価 される、認 められるか ら	正規雇用	非正規雇用	-0.140	0.100	0.338	-0.37	0.09
		無職	-.269*	0.100	0.020	-0.50	-0.03
	非正規雇用	正規雇用	0.140	0.100	0.338	-0.09	0.37
		無職	-.129*	0.040	0.004	-0.22	-0.03
	無職	正規雇用	.269*	0.100	0.020	0.03	0.50
		非正規雇用	.129*	0.040	0.004	0.03	0.22
持っている 資格を活か したいから	正規雇用	非正規雇用	-0.065	0.140	0.889	-0.39	0.26
		無職	-0.252	0.141	0.174	-0.58	0.08
	非正規雇用	正規雇用	0.065	0.140	0.889	-0.26	0.39
		無職	-.187*	0.056	0.003	-0.32	-0.05
	無職	正規雇用	0.252	0.141	0.174	-0.08	0.58
		非正規雇用	.187*	0.056	0.003	0.05	0.32
時間に余裕 ができたか ら	正規雇用	非正規雇用	.631*	0.106	0.000	0.38	0.88
		無職	1.067*	0.106	0.000	0.82	1.32
	非正規雇用	正規雇用	-.631*	0.106	0.000	-0.88	-0.38
		無職	.436*	0.042	0.000	0.34	0.54
	無職	正規雇用	-1.067*	0.106	0.000	-1.32	-0.82
		非正規雇用	-.436*	0.042	0.000	-0.54	-0.34
収入になる から	正規雇用	非正規雇用	0.250	0.117	0.082	-0.02	0.52
		無職	-0.077	0.118	0.790	-0.35	0.20
	非正規雇用	正規雇用	-0.250	0.117	0.082	-0.52	0.02
		無職	-.327*	0.047	0.000	-0.44	-0.22
	無職	正規雇用	0.077	0.118	0.790	-0.20	0.35
		非正規雇用	.327*	0.047	0.000	0.22	0.44
地域や社会 のことを知 りたいから	正規雇用	非正規雇用	0.156	0.108	0.316	-0.10	0.41
		無職	0.188	0.108	0.194	-0.07	0.44
	非正規雇用	正規雇用	-0.156	0.108	0.316	-0.41	0.10
		無職	0.031	0.043	0.746	-0.07	0.13
	無職	正規雇用	-0.188	0.108	0.194	-0.44	0.07
		非正規雇用	-0.031	0.043	0.746	-0.13	0.07
別居する子 どもを通じ て育児支援 の必要性を 感じ、身近	正規雇用	非正規雇用	0.147	0.141	0.548	-0.18	0.48
		無職	.550*	0.141	0.000	0.22	0.88
	非正規雇用	正規雇用	-0.147	0.141	0.548	-0.48	0.18
		無職	.403*	0.056	0.000	0.27	0.54
	無職	正規雇用	-.550*	0.141	0.000	-0.88	-0.22

で育児支援 を行いたい と思ったか ら		非正規雇用	-0.403*	0.056	0.000	-0.54	-0.27
就労へのス テップとし たいから	正規雇用	非正規雇用	0.128	0.101	0.419	-0.11	0.37
		無職	-0.206	0.102	0.107	-0.45	0.03
	非正規雇用	正規雇用	-0.128	0.101	0.419	-0.37	0.11
		無職	-0.334*	0.041	0.000	-0.43	-0.24
	無職	正規雇用	0.206	0.102	0.107	-0.03	0.45
		非正規雇用	.334*	0.041	0.000	0.24	0.43
友人や周り の人に頼ま れたから	正規雇用	非正規雇用	-0.182	0.140	0.395	-0.51	0.15
		無職	-0.561*	0.141	0.000	-0.89	-0.23
	非正規雇用	正規雇用	0.182	0.140	0.395	-0.15	0.51
		無職	-0.379*	0.056	0.000	-0.51	-0.25
	無職	正規雇用	.561*	0.141	0.000	0.23	0.89
		非正規雇用	.379*	0.056	0.000	0.25	0.51
自分の視野 を広げたい から	正規雇用	非正規雇用	0.136	0.111	0.435	-0.12	0.40
		無職	0.011	0.111	0.994	-0.25	0.27
	非正規雇用	正規雇用	-0.136	0.111	0.435	-0.40	0.12
		無職	-0.125*	0.044	0.013	-0.23	-0.02
	無職	正規雇用	-0.011	0.111	0.994	-0.27	0.25
		非正規雇用	.125*	0.044	0.013	0.02	0.23
子育て経験 が活かせる から	正規雇用	非正規雇用	.370*	0.100	0.001	0.14	0.60
		無職	.255*	0.100	0.030	0.02	0.49
	非正規雇用	正規雇用	-0.370*	0.100	0.001	-0.60	-0.14
		無職	-0.116*	0.040	0.011	-0.21	-0.02
	無職	正規雇用	-0.255*	0.100	0.030	-0.49	-0.02
		非正規雇用	.116*	0.040	0.011	0.02	0.21
孫のような 存在が身近 に欲しかっ たから	正規雇用	非正規雇用	0.136	0.121	0.495	-0.15	0.42
		無職	.392*	0.121	0.004	0.11	0.68
	非正規雇用	正規雇用	-0.136	0.121	0.495	-0.42	0.15
		無職	.256*	0.048	0.000	0.14	0.37
	無職	正規雇用	-0.392*	0.121	0.004	-0.68	-0.11
		非正規雇用	-0.256*	0.048	0.000	-0.37	-0.14
児童虐待や 子育ての孤 立など、社	正規雇用	非正規雇用	0.018	0.111	0.986	-0.24	0.28
		無職	0.025	0.112	0.973	-0.24	0.29
	非正規雇用	正規雇用	-0.018	0.111	0.986	-0.28	0.24

会問題の解	無職		0.007	0.044	0.986	-0.10	0.11
決に役立ち たいから	無職	正規雇用	-0.025	0.112	0.973	-0.29	0.24
		非正規雇用	-0.007	0.044	0.986	-0.11	0.10
仕事や活動 に必要な知 識やスキル を取得した いから	無職	正規雇用	-0.078	0.116	0.779	-0.35	0.19
		非正規雇用	-0.440*	0.117	0.001	-0.71	-0.17
いから	無職	正規雇用	0.078	0.116	0.779	-0.19	0.35
		無職	-0.361*	0.047	0.000	-0.47	-0.25
		非正規雇用	.440*	0.117	0.001	0.17	0.71
			.361*	0.047	0.000	0.25	0.47

*. *P*. 05

II-1-(5) 保有資格

ここでは、保有資格によって、「提供会員になった理由」にどのような違いがあるのか明らかにするために、平均値の比較を行った。その結果、表 2-II-22～表 2-II-28 の通りとなっている。

先にも述べたが、「提供会員になった理由」の回答は、「あてはまる」～「あてはまらない」の 5 件法で、「あてはまる」方が点数が低くなっている。よって平均値の低い方が、より「あてはまる」に近い回答ということになる。

保育士資格

「提供会員になった理由」の質問項目が 22 項目ある中で、保育士資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して有意に「あてはまる」と多く回答したものは、表 2-II-22 の通り、13 項目にのぼった。特に、「持っている資格を活かしたいから」が、保育士資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して、1%水準で有意に 2 ポイント上回った。その他、「楽しそう、子どもが好きだから」「持っている資格を活かしたいから」「子育て経験が活かせるから」「児童虐待や子育ての孤立など、社会問題の解決に役立ちたいから」の 4 項目が、保育士資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と有意に多く回答していることがわかる。

逆に、保育士資格「なし」の群が、「あり」の群と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものは、なかった。

表 2-II-22 提供会員になった理由×保育士資格

		度数	平均値	標準偏差	自由度	F 値	<i>p</i>
楽しそう、子どもが好きだから	はい	826	1.36	0.606	群間	1	62.449 >.00 **
	いいえ	2,539	1.61	0.835	群内	3,363	
	合計	3,365	1.55	0.792	合計	3,364	
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけたいから	はい	820	2.87	1.271	群間	1	11.690 0.001 **
	いいえ	2,525	3.04	1.214	群内	3,343	
	合計	3,345	3.00	1.230	合計	3,344	

市の公的な事業だから	はい	822	2.76	1.222	群間	1	7.601	0.006	**
	いいえ	2,526	2.90	1.268	群内	3,346			
	合計	3,348	2.86	1.258	合計	3,347			
家族、友人、職場などから評 価される、認められるから	はい	820	3.72	1.100	群間	1	14.836	>.00	**
	いいえ	2,521	3.88	1.058	群内	3,339			
	合計	3,341	3.84	1.071	合計	3,340			
持っている資格を活かしたい から	はい	830	1.85	1.091	群間	1	1557.730	>.00	**
	いいえ	2,521	3.81	1.288	群内	3,349			
	合計	3,351	3.33	1.503	合計	3,350			
時間に余裕ができたから	はい	829	2.07	1.153	群間	1	17.817	>.00	**
	いいえ	2,543	2.27	1.187	群内	3,370			
	合計	3,372	2.22	1.182	合計	3,371			
収入になるから	はい	823	3.36	1.301	群間	1	8.987	0.003	**
	いいえ	2,529	3.52	1.250	群内	3,350			
	合計	3,352	3.48	1.264	合計	3,351			
地域や社会のことを知りたい から	はい	819	2.91	1.144	群間	1	4.705	0.030	*
	いいえ	2,527	3.01	1.158	群内	3,344			
	合計	3,346	2.98	1.155	合計	3,345			
友人や周りの人に頼まれたか ら	はい	824	3.44	1.551	群間	1	15.860	>.00	**
	いいえ	2,526	3.68	1.490	群内	3,348			
	合計	3,350	3.62	1.509	合計	3,349			
自分の視野を広げたいから	はい	822	2.55	1.139	群間	1	3.750	0.053	†
	いいえ	2,530	2.65	1.216	群内	3,350			
	合計	3,352	2.63	1.198	合計	3,351			
子育て経験が活かせるから	はい	828	1.90	1.097	群間	1	10.860	0.001	**
	いいえ	2,539	2.04	1.082	群内	3,365			
	合計	3,367	2.01	1.087	合計	3,366			
児童虐待や子育ての孤立な ど、社会問題の解決に役立ち たいから	はい	822	2.32	1.142	群間	1	5.302	0.021	*
	いいえ	2,533	2.43	1.198	群内	3,353			
	合計	3,355	2.41	1.186	合計	3,354			
仕事や活動に必要な知識やス キルを取得したいから	はい	823	3.24	1.253	群間	1	42.017	>.00	**
	いいえ	2,525	3.57	1.245	群内	3,346			
	合計	3,348	3.49	1.255	合計	3,347			

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

幼稚園教諭免許

「提供会員になった理由」の質問項目が22項目ある中で、幼稚園教諭免許「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものは、表2-II-23の通り、8項目であった。特に、「持っている資格を活かしたいから」が、幼稚園教諭免許「あり」の群が、「なし」の群と比較して、1%水準で有意に1.8ポイント上回った。その他、「楽しそう、子どもが好きだから」「持っている資格を活かしたいから」「時間に余裕ができたから」「子育て経験が活かせるから」の4項目が、幼稚園教諭免許「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と有意に多く回答していることがわかる。

逆に、幼稚園教諭免許「なし」の群が、「あり」の群と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものはなかった。

表2-II-23 提供会員になった理由×幼稚園教諭免許

		度数	平均値	標準偏差		自由度	F 値	p	
楽しそう、子どもが好きだから	はい	659	1.35	0.611	群間	1	51.834	>.00	**
	いいえ	2,706	1.60	0.823	群内	3,363			
	合計	3,365	1.55	0.792	合計	3,364			
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけたいから	はい	654	2.92	1.268	群間	1	3.292	0.070	
	いいえ	2,691	3.02	1.220	群内	3,343			
	合計	3,345	3.00	1.230	合計	3,344			
市の公的な事業だから	はい	654	2.73	1.225	群間	1	9.561	0.002	**
	いいえ	2,694	2.90	1.264	群内	3,346			
	合計	3,348	2.86	1.258	合計	3,347			
持っている資格を活かしたいから	はい	661	1.88	1.071	群間	1	988.108	>.00	**
	いいえ	2,690	3.68	1.376	群内	3,349			
	合計	3,351	3.33	1.503	合計	3,350			
時間に余裕ができたから	はい	658	2.06	1.138	群間	1	14.848	>.00	**
	いいえ	2,714	2.26	1.189	群内	3,370			
	合計	3,372	2.22	1.182	合計	3,371			
友人や周りの人に頼まれたから	はい	658	3.44	1.570	群間	1	11.215	0.001	**
	いいえ	2,692	3.66	1.490	群内	3,348			
	合計	3,350	3.62	1.509	合計	3,349			
子育て経験が活かせるから	はい	659	1.89	1.040	群間	1	9.810	0.002	**
	いいえ	2,708	2.04	1.097	群内	3,365			
	合計	3,367	2.01	1.087	合計	3,366			
仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから	はい	655	3.33	1.246	群間	1	13.718	>.00	**
	いいえ	2,693	3.53	1.254	群内	3,346			
	合計	3348	3.49	1.255	合計	3,347			

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

小・中・高教諭免許

「提供会員になった理由」の質問項目が22項目ある中で、小・中・高教諭免許「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものは2項目であった。特に、「持っている資格を活かしたいから」が、小・中・高教諭免許「あり」の群が、「なし」の群と比較して、1%水準で有意に0.4ポイント上回った。その他、「時間に余裕ができたから」が、小・中・高教諭免許「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と多く回答している有意傾向があることがわかった。

逆に、小・中・高教諭免許「なし」の群が、「あり」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と有意に多く回答したものは、「活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから」「人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから」の2項目となった。

その他、小・中・高教諭免許「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と有意に多く回答したものは、「活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから」「家族、友人、職場などから評価される、認められるから」(有意傾向)、「就労へのステップとしたいから」の3項目となった。

表 2-II-24 提供会員になった理由×小・中・高教諭免許

		度数	平均値	標準偏差		自由度	F 値	p	
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから	はい	394	3.12	1.274	群間	1	4.078	0.044	*
	いいえ	2,951	2.99	1.224	群内	3,343			
	合計	3,345	3.00	1.230	合計	3,344			
人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから	はい	395	3.03	1.168	群間	1	8.189	0.004	**
	いいえ	2,957	2.84	1.194	群内	3,350			
	合計	3,352	2.86	1.192	合計	3,351			
家族、友人、職場などから評価される、認められるから	はい	395	3.94	1.029	群間	1	3.335	0.068	†
	いいえ	2,946	3.83	1.076	群内	3,339			
	合計	3,341	3.84	1.071	合計	3,340			
持っている資格を活かしたいから	はい	397	2.99	1.363	群間	1	22.915	>.00	**
	いいえ	2,954	3.37	1.516	群内	3,349			
	合計	3,351	3.33	1.503	合計	3,350			
時間に余裕ができたから	はい	395	2.12	1.095	群間	1	3.188	0.074	†
	いいえ	2,977	2.23	1.192	群内	3,370			
	合計	3,372	2.22	1.182	合計	3,371			
就労へのステップとしたいから	はい	395	4.29	0.932	群間	1	12.408	>.00	**
	いいえ	2,949	4.09	1.100	群内	3,342			
	合計	3,344	4.11	1.084	合計	3,343			

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

看護師資格

「提供会員になった理由」の質問項目が22項目ある中で、看護師資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものは、4項目であった。特に、「持っている資格を活かしたいから」が、看護師資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して、1%水準で有意に0.8ポイント上回った。その他、「楽しそう、子どもが好きだから」「地域や社会に恩返しをしたいから」「時間に余裕ができたから」「児童虐待や子育ての孤立など、社会問題の解決に役立ちたいから」の4項目が、看護師資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と多く回答している有意傾向があることがわかった。

逆に、看護師資格「なし」の群が、「あり」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と有意に多く回答したものはなかった。

その他、看護師資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と有意に多く回答したものは、「収入になるから」「就労へのステップとしたいから」（有意傾向）、「友人や周りの人に頼まれたから」（有意傾向）の3項目となった。

表2-II-25 提供会員になった理由×看護師資格

		度数	平均値	標準偏差		自由度	F 値	p	
楽しそう、子どもが好きだから	はい	133	1.78	1.018	群間	1	12.085	0.001	**
	いいえ	3,232	1.54	0.780	群内	3,363			
	合計	3,365	1.55	0.792	合計	3,364			
地域や社会に恩返しをしたいから	はい	134	1.86	0.927	群間	1	10.576	0.001	**
	いいえ	3,239	2.16	1.066	群内	3,371			
	合計	3,373	2.15	1.063	合計	3,372			
持っている資格を活かしたいから	はい	134	2.52	1.319	群間	1	40.545	>.00	**
	いいえ	3,217	3.36	1.502	群内	3,349			
	合計	3,351	3.33	1.503	合計	3,350			
「提供会員」になった理由 時間に余裕ができたから	はい	134	1.90	1.042	群間	1	10.633	0.001	**
	いいえ	3,238	2.23	1.185	群内	3,370			
	合計	3,372	2.22	1.182	合計	3,371			
収入になるから	はい	134	3.75	1.179	群間	1	6.654	0.010	**
	いいえ	3,218	3.47	1.267	群内	3,350			
	合計	3,352	3.48	1.264	合計	3,351			
就労へのステップとしたいから	はい	134	4.28	1.036	群間	1	3.141	0.076	†
	いいえ	3,210	4.11	1.085	群内	3,342			
	合計	3,344	4.11	1.084	合計	3,343			
友人や周りの人に頼まれたから	はい	134	3.86	1.436	群間	1	3.571	0.059	†
	いいえ	3,216	3.61	1.511	群内	3,348			
	合計	3,350	3.62	1.509	合計	3,349			

児童虐待や子育ての孤立など、 社会問題の解決に役立ちたいか ら	はい	134	2.19	1.166	群間	1	4.427	0.035	*
	いいえ	3,221	2.41	1.186	群内	3,353			
	合計	3,355	2.41	1.186	合計	3,354			

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

ホームヘルパー資格

「提供会員になった理由」の質問項目が22項目ある中で、ホームヘルパー資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものは、3項目であった。特に、「別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから」が、ホームヘルパー資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して、1%水準で有意に0.3ポイント上回った。その他、「生きがいになるものがほしかったから」「自分の視野を広げたいから」が、ホームヘルパー資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と有意に多く回答していることがわかった。

逆に、ホームヘルパー資格「なし」の群が、「あり」の群と比較して「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と有意に多く回答したものは「持っている資格を活かしたいから」「地域や社会のことを知りたいから」「孫のような存在が身近に欲しかったから」「仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから」となった。

表2-II-26 提供会員になった理由×ホームヘルパー資格

		度数	平均値	標準偏差		自由度	F 値	p	
生きがいになるものがほしかったから	はい	473	2.59	1.147	群間	1	3.526	0.060	*
	いいえ	2,876	2.70	1.174	群内	3,347			
	合計	3,349	2.68	1.171	合計	3,348			
持っている資格を活かしたいから	はい	470	3.14	1.393	群間	1	8.141	0.004	**
	いいえ	2,881	3.36	1.519	群内	3,349			
	合計	3,351	3.33	1.503	合計	3,350			
地域や社会のことを知りたいから	はい	469	2.85	1.160	群間	1	7.189	0.007	**
	いいえ	2,877	3.00	1.153	群内	3,344			
	合計	3,346	2.98	1.155	合計	3,345			
別居する子どもを通じて育児支援の必要性を感じ、身近で育児支援を行いたいと思ったから	はい	470	2.96	1.530	群間	1	16.610	>.00	**
	いいえ	2,879	3.27	1.514	群内	3,347			
	合計	3,349	3.23	1.520	合計	3,348			
自分の視野を広げたいから	はい	472	2.49	1.182	群間	1	7.275	0.007	**
	いいえ	2,880	2.65	1.199	群内	3,350			
	合計	3,352	2.63	1.198	合計	3,351			
	はい	471	3.44	1.337	群間	1	14.974	>.00	**

孫のような存在が身近に欲しかったから	いいえ	2,880	3.69	1.286	群内	3,349			
	合計	3,351	3.65	1.296	合計	3,350			
仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから	はい	472	3.36	1.289	群間	1	6.073	0.014	*
	いいえ	2,876	3.51	1.248	群内	3,346			
	合計	3,348	3.49	1.255	合計	3,347			

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

社会福祉士資格

「提供会員になった理由」の質問項目が22項目ある中で、社会福祉士資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものは、3項目であった。特に、「児童虐待や子育ての孤立など、社会問題の解決に役立ちたいから」が、社会福祉士資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して、5%水準で有意に0.5ポイント上回った。その他、「持っている資格を活かしたいから」「自分の視野を広げたいから」が、社会福祉士資格「あり」の群が、「なし」の群と比較して「あてはまる」「ややあてはまる」と有意に多く回答していることがわかった。

逆に、社会福祉士資格「なし」の群が、「あり」の群と比較して「ややあてはまらない」「あてはまらない」と有意に多く回答したものは、「就労へのステップとしたいから」「仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから」（ともに、有意傾向）となった。

表 2-II-27 提供会員になった理由×社会福祉士資格

		度数	平均値	標準偏差	自由度	F 値	p		
持っている資格を活かしたいから	はい	35	2.49	1.541	群間	1	11.133	0.001	**
	いいえ	3,316	3.34	1.501	群内	3,349			
	合計	3,351	3.33	1.503	合計	3,350			
就労へのステップとしたいから	はい	35	3.77	1.140	群間	1	3.531	0.060	†
	いいえ	3,309	4.12	1.083	群内	3,342			
	合計	3,344	4.11	1.084	合計	3,343			
自分の視野を広げたいから	はい	36	2.22	1.124	群間	1	4.119	0.042	*
	いいえ	3,316	2.63	1.198	群内	3,350			
	合計	3,352	2.63	1.198	合計	3,351			
児童虐待や子育ての孤立など、社会問題の解決に役立ちたいから	はい	35	1.94	0.938	群間	1	5.383	0.020	*
	いいえ	3,320	2.41	1.187	群内	3,353			
	合計	3,355	2.41	1.186	合計	3,354			
仕事や活動に必要な知識やスキルを取得したいから	はい	35	3.09	1.222	群間	1	3.633	0.057	†
	いいえ	3,313	3.49	1.255	群内	3,346			
	合計	3,348	3.49	1.255	合計	3,347			

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

資格なし

「提供会員になった理由」の質問項目が22項目ある中で、16項目に有意差が見られたが、資格「なし」に回答した群が、その他の群（無回答）と比較して「あてはまる」と有意に多く回答したものはなかった。

顕著だったのは、「持っている資格を活かしたいから」が、資格「なし」に回答した群が、その他の群（無回答）と比較して、1%水準で有意に1.6ポイント下回った点である。

表 2-II-28 提供会員になった理由×資格の有無

		度数	平均値	標準偏差		自由度	F 値	p	
楽しそう、子どもが好きだから	はい	1,272	1.64	0.856	群間	1	30.021	>.00	**
	いいえ	2,093	1.49	0.745	群内	3,363			
	合計	3,365	1.55	0.792	合計	3,364			
困っている人の手助けをしたい、人の役に立ちたいから	はい	1,273	1.46	0.668	群間	1	14.322	>.00	**
	いいえ	2,103	1.37	0.608	群内	3,374			
	合計	3,376	1.40	0.633	合計	3,375			
多くの人と知り合いたい、新しい人と出会いたいから	はい	1,256	2.61	1.144	群間	1	8.744	0.003	**
	いいえ	2,084	2.50	1.116	群内	3,338			
	合計	3,340	2.54	1.128	合計	3,339			
活動に対する自分の適性を知りたい・やりたい仕事を見つけないから	はい	1,262	3.10	1.185	群間	1	12.921	>.00	**
	いいえ	2,083	2.94	1.253	群内	3,343			
	合計	3,345	3.00	1.230	合計	3,344			
地域や社会に恩返しをしたいから	はい	1,274	2.27	1.095	群間	1	25.152	>.00	**
	いいえ	2,099	2.08	1.036	群内	3,371			
	合計	3,373	2.15	1.063	合計	3,372			
生きがいになるものがほしかったから	はい	1,262	2.78	1.162	群間	1	14.332	>.00	**
	いいえ	2,087	2.62	1.173	群内	3,347			
	合計	3,349	2.68	1.171	合計	3,348			
人と接することや、相手の気持ちや考えを理解する力を身に付けたいから	はい	1,265	2.95	1.167	群間	1	9.632	0.002	**
	いいえ	2,087	2.81	1.205	群内	3,350			
	合計	3,352	2.86	1.192	合計	3,351			
家族、友人、職場などから評価される、認められるから	はい	1,258	3.90	1.045	群間	1	5.425	0.020	**
	いいえ	2,083	3.81	1.085	群内	3,339			
	合計	3,341	3.84	1.071	合計	3,340			
持っている資格を活かしたいから	はい	1,257	4.33	0.930	群間	1	1,213.39	>.00	**
	いいえ	2,094	2.73	1.462	群内	3,349			
	合計	3,351	3.33	1.503	合計	3,350			

「提供会員」になった理由 時間に余裕ができたから	はい	1,276	2.34	1.213	群間	1	21.462	>.00	**
	いいえ	2,096	2.15	1.156	群内	3,370			
	合計	3,372	2.22	1.182	合計	3,371			
地域や社会のことを知りた いから	はい	1,266	3.13	1.135	群間	1	31.536	>.00	**
	いいえ	2,080	2.90	1.159	群内	3,344			
	合計	3,346	2.98	1.155	合計	3,345			
別居する子どもを通じて育 児支援の必要性を感じ、身 近で育児支援を行いたいと 思ったから	はい	1,265	3.36	1.519	群間	1	14.860	>.00	**
	いいえ	2,084	3.15	1.516	群内	3,347			
	合計	3,349	3.23	1.520	合計	3,348			
就労へのステップとしたい から	はい	1,261	4.19	1.037	群間	1	9.959	0.002	**
	いいえ	2,083	4.07	1.108	群内	3,342			
	合計	3,344	4.11	1.084	合計	3,343			
自分の視野を広げたいから	はい	1,264	2.72	1.194	群間	1	11.541	0.001	**
	いいえ	2,088	2.57	1.197	群内	3,350			
	合計	3,352	2.63	1.198	合計	3,351			
児童虐待や子育ての孤立な ど、社会問題の解決に役立 ちたいから	はい	1,267	2.52	1.210	群間	1	18.750	>.00	**
	いいえ	2,088	2.34	1.166	群内	3,353			
	合計	3,355	2.41	1.186	合計	3,354			
仕事や活動に必要な知識や スキルを取得したいから	はい	1,262	3.69	1.211	群間	1	53.958	>.00	**
	いいえ	2,086	3.36	1.265	群内	3,346			
	合計	3,348	3.49	1.255	合計	3,347			

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

II-2. 提供会員になったことで得たものと属性（年齢、配偶者の有無、活動年数、就業形態、保有資格）

II-2-（1）年齢とのクロス集計

「提供会員になったことで得たもの」の質問に対しては、「あてはまる」ものすべてに回答する複数回答法で回答を得た。

提供会員の回答を、子育て世代（40歳代まで）と、子育てを終えた世代（50歳代以降）に分け、「提供会員になったことで得たもの」とクロス集計を行った。

その結果、有意差が見られた項目の中で、「子育て世代」あるいは「子育てが終わった世代」の特徴として認められるものだけ、表2-II-29から表2-II-33の調整済み残差の数値（絶対値1.96以上）によって明らかにした。

「子育て世代」が「子育てが終わった世代」と比較して「はい」と回答した割合が有意に多いのは、表2-II-31から表2-II-33で「援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある」「育児の経験を活かすことができる」「援助費をもらえる」の3項目である。

一方「子育てが終わった世代」が「子育て世代」と比較して「はい」と回答した割合が有意に多いのは、表

2-II-29 から表 2-II-30 で、「社会参加ができる」「地域に新しい知り合いができる」の2項目であった。

以上のことから、それぞれの世代によって、「提供会員になったことで得たもの」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-29 社会参加ができる×世代

		子育て 世代	子育て 終了	合計	P
はい	度数	265	1,277	1,542	0.006
	割合	40.70%	46.70%	45.50%	
	調整済み残差	-2.7	2.7		
いい	度数	386	1,459	1,845	
	割合	59.30%	53.30%	54.50%	
	調整済み残差	2.7	-2.7		

表 2-II-30 地域に新しい知り合いができる×世代

		子育て 世代	子育て 終了	合計	P
はい	度数	277	1,286	1,563	0.041
	割合	42.50%	47.00%	46.10%	
	調整済み残差	-2	2		
いい	度数	374	1,450	1,824	
	割合	57.50%	53.00%	53.90%	
	調整済み残差	2	-2		

表 2-II-31 援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある×世代

		子育て 世代	子育て 終了	合計	P
はい	度数	351	1,049	1,400	>.000
	割合	53.90%	38.30%	41.30%	
	調整済み残差	7.3	-7.3		
いい	度数	300	1,687	1,987	
	割合	46.10%	61.70%	58.70%	
	調整済み残差	-7.3	7.3		

表 2-II-32 育児の経験を活かすことができる×世代

		子育て 世代	子育て 終了	合計	P
はい	度数	444	1,745	2,189	0.034
	割合	68.20%	63.80%	64.60%	
	調整済み残差	2.1	-2.1		
いい	度数	207	991	1,198	
	割合	31.80%	36.20%	35.40%	
	調整済み残差	-2.1	2.1		

表 2-II-33 援助費をもらえる×世代

		子育て 世代	子育て 終了	合計	P
はい	度数	246	799	1,045	>.000
	割合	37.80%	29.20%	30.90%	
	調整済み残差	4.3	-4.3		
いい	度数	405	1,937	2,342	
	割合	62.20%	70.80%	69.10%	
	調整済み残差	-4.3	4.3		

II-2-(2) 配偶者の有無

ここでは、「提供会員になったことで得たもの」と配偶者の有無について、クロス集計を行った。その結果、5%水準で有意差が見られた項目の中で、配偶者の有無の特徴として認められるものだけ、表2-II-34の調整済み残差の数値（絶対値1.96以上）によって明らかにした。

配偶者の「あり」が、配偶者「なし」と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「育児の経験を活かすことができる」の1項目のみであった。

その他の項目では、配偶者の有無での違いは認められなかった。

以上のことから、配偶者の有無で、「提供会員になったことで得たもの」の1つに違いがあることが明らかとなった。

表2-II-34 育児の経験を活かすことができる×配偶者の有無

		配偶者の有無		p
		いる	いない	
はい	度数	1,928	261	0.01 *
	割合	65.50%	59.20%	
	調整済み残差	2.6	-2.6	
いいえ	度数	1,015	180	
	割合	34.50%	40.80%	
	調整済み残差	-2.6	2.6	

II-2-(3) 活動年数

提供会員の回答を、活動年数5年以上と5年未満に分け、「提供会員になったことで得たもの」とクロス集計を行った。

その結果、「とくにない」以外の全項目で、5年以上の提供会員が「はい」と回答している割合が、5年未満の提供会員より、有意に多いことが明らかとなった。特に差が見られたのは、表2-II-35の調整済み残差から（絶対値1.96以上）、「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」「自分や家族と援助している子どもとのふれあい楽しい」「地域に新しい知り合いができる」に大きな差が出た。

また、「とくにない」の回答は、5年未満の提供会員より、5年以上の提供会員が「はい」と回答している割合が、有意に多いことが明らかとなった。

以上のことから、提供会員の活動の継続性と、得たものとの間に、関係性があることが明らかとなった。

表2-II-35 提供会員になったことで得たもの×活動年数

		5年		p	
		以上	未満		
依頼会員に信頼され、やりがいを感じる×活動年数	はい	度数	1,518	962	>.000 **
		割合	78.30%	66.90%	
		調整済み残差	7.4	-7.4	
	いいえ	度数	421	475	

		割合	21.70%	33.10%		
		調整済み残差	-7.4	7.4		
社会参加ができる×活動年数	はい	度数	919	620	0.014	*
		割合	47.40%	43.10%		
		調整済み残差	2.5	-2.5		
	いいえ	度数	1,020	817		
		割合	52.60%	56.90%		
		調整済み残差	-2.5	2.5		
自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい×活動年数	はい	度数	1,383	875	>.000	**
		割合	71.30%	60.90%		
		調整済み残差	6.4	-6.4		
	いいえ	度数	556	562		
		割合	28.70%	39.10%		
		調整済み残差	-6.4	6.4		
育児に関する知識や技術を身につけることができる×活動年数	はい	度数	622	381	0.001	**
		割合	32.10%	26.50%		
		調整済み残差	3.5	-3.5		
	いいえ	度数	1,317	1,056		
		割合	67.90%	73.50%		
		調整済み残差	-3.5	3.5		
援助費をもらえる×活動年数	はい	度数	649	395	>.000	**
		割合	33.50%	27.50%		
		調整済み残差	3.7	-3.7		
	いいえ	度数	1,290	1,042		
		割合	66.50%	72.50%		
		調整済み残差	-3.7	3.7		
社会の役に立っていることが実感できる×活動年数	はい	度数	1,020	682	0.003	**
		割合	52.60%	47.50%		
		調整済み残差	3	-3		
	いいえ	度数	919	755		
		割合	47.40%	52.50%		
		調整済み残差	-3	3		
地域に新しい知り合いができる×活動年数	はい	度数	966	594	>.000	**
		割合	49.80%	41.30%		
		調整済み残差	4.9	-4.9		
	いいえ	度数	973	843		
		割合	50.20%	58.70%		
		調整済み残差	-4.9	4.9		
	はい	度数	839	560	0.013	

援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある×活動年数		割合	43.30%	39.00%	
		調整済み残差	2.5	-2.5	
	いいえ	度数	1,100	877	
		割合	56.70%	61.00%	
		調整済み残差	-2.5	2.5	
育児の経験を活かすことができる×活動年数	はい	度数	1,316	869	>.000 **
		割合	67.90%	60.50%	
		調整済み残差	4.4	-4.4	
	いいえ	度数	623	568	
		割合	32.10%	39.50%	
		調整済み残差	-4.4	4.4	
とくにない×活動年数	はい	度数	5	15	0.005 **
		割合	0.30%	1.00%	
		調整済み残差	-2.9	2.9	
	いいえ	度数	1,934	1,422	
		割合	99.70%	99.00%	
		調整済み残差	2.9	-2.9	

II-2-(4) 就業形態

「提供会員になったことで得たもの」と就業形態について、就業形態の選択肢は、「無職」「正社員・正規職員」「パート・アルバイト・契約・臨時・嘱託」「派遣社員」「請負社員」「自営業主、自由業者」「家族従業者」「内職」「経営者、役員」「上記以外」という10項目を選択する形となっている。ここでは、雇用形態によって、どのような違いがあるのか明らかにするために、上記を「正規雇用」「非正規雇用」「無職」の3つに分類し、その他を除外してクロス集計を行った。

その結果、「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」「社会参加ができる」「地域に新しい知り合いができる」「自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい」「援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある」「育児の経験を活かすことができる」「援助費をもらえる」の7項目で5%水準で有意差が見られた。

調整済み残差の結果から（絶対値1.96以上）、「正規雇用」の群が、「あてはまる」と回答している割合が有意に多い項目は一つもなかった。逆に、「地域に新しい知り合いができる」は、「正規雇用」の群が、他の群より「あてはまる」と回答した割合が少ないことが明らかとなった。

一方、「非正規雇用」の群が、「あてはまる」と回答している割合が有意に多い項目は、「援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある」「育児の経験を活かすことができる」「援助費をもらえる」の3項目となった。

「無職」の群が、「あてはまる」と回答している割合が有意に多い項目は、「自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい」「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」「社会参加ができる」の3項目となった。

以上のことから、「提供会員になったことで得たもの」と、就業形態との間に、関係性があることが明らかとなった。

表 2-II-36 提供会員になったことで得たものと就業形態

		正規雇用	非正規雇用	無職	p		
依頼会員に信頼され、やりがいを感じる	はい	度数	82	1,107	1,037	0.003	**
		割合	65.60%	71.40%	76.00%		
		調整済み残差	-2	-2.3	3.1		
	いいえ	度数	43	443	327		
		割合	34.40%	28.60%	24.00%		
		調整済み残差	2	2.3	-3.1		
社会参加ができる	はい	度数	46	667	682	>.000	**
		正・非正規・無職の%	36.80%	43.00%	50.00%		
		調整済み残差	-2.1	-3.2	4.1		
	いいえ	度数	79	883	682		
		正・非正規・無職の%	63.20%	57.00%	50.00%		
		調整済み残差	2.1	3.2	-4.1		
地域に新しい知り合いができる	はい	度数	46	701	639	0.089	**
		正・非正規・無職の%	36.80%	45.20%	46.80%		
		調整済み残差	-2	-0.4	1.2		
	いいえ	度数	79	849	725		
		正・非正規・無職の%	63.20%	54.80%	53.20%		
		調整済み残差	2	0.4	-1.2		
自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい	はい	度数	77	983	950	0.001	**
		正・非正規・無職の%	61.60%	63.40%	69.60%		
		調整済み残差	-1.1	-3.2	3.7		
	いいえ	度数	48	567	414		
		正・非正規・無職の%	38.40%	36.60%	30.40%		
		調整済み残差	1.1	3.2	-3.7		
援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある	はい	度数	43	678	534	0.012	**
		正・非正規・無職の%	34.40%	43.70%	39.10%		
		調整済み残差	-1.6	2.8	-2.2		
	いいえ	度数	82	872	830		
		正・非正規・無職の%	65.60%	56.30%	60.90%		

		調整済み残差	1.6	-2.8	2.2		
		度数	70	1,038	865	0.014	*
育児の経験を活かすことができる	はい	正・非正規・ 無職の%	56.00%	67.00%	63.40%		
		調整済み残差	-2.1	2.4	-1.6		
		度数	55	512	499		
	いいえ	正・非正規・ 無職の%	44.00%	33.00%	36.60%		
		調整済み残差	2.1	-2.4	1.6		
		度数	25	513	406	0.004	**
援助費をもらえる	はい	正・非正規・ 無職の%	20.00%	33.10%	29.80%		
		調整済み残差	-2.7	2.5	-1.4		
		度数	100	1,037	958		
	いいえ	正・非正規・ 無職の%	80.00%	66.90%	70.20%		
		調整済み残差	2.7	-2.5	1.4		

II-2- (5) 保有資格

ここでは、「提供会員になったことで得たもの」と保有資格の有無について、クロス集計を行った。その結果、表 2-II-37～表 2-II-42 の調整済み残差の数値（絶対値 1.96 以上）によって有意な特徴が明らかとなった。

保育士資格

保育士資格のある人が、保育士資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「育児の経験を活かすことができる」「特に得たものはない」の2項目となった。

保育士資格のない人が、保育士資格のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある」「育児に関する知識や技術を身につけることができる」の2項目となった。

以上のことから、保育士資格の有無で、「提供会員になったことで得たもの」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-37 提供会員になったことで得たもの×保育士資格の有無

		保育士資格		合計	P	
		有	無			
援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある	はい	度数	307	1,094	1,401	0.003 **
		割合	36.9%	42.8%	41.3%	
		調整済み 残差	-3.00	3.00		

		度数	526	1,465	1,991		
	いい	割合	63.1%	57.2%	58.7%		
	え	調整済み					
		残差	3.00	-3.00			
		度数	222	786	1,008	0.026	*
	はい	割合	26.7%	30.7%	29.7%		
		調整済み					
		残差	-2.20	2.20			
育児に関する知識や技術を身につけることができる		度数	611	1,773	2,384		
	いい	割合	73.3%	69.3%	70.3%		
	え	調整済み					
		残差	2.20	-2.20			
		度数	562	1,627	2,189	0.042	*
	はい	割合	67.5%	63.6%	64.5%		
		調整済み					
		残差	2.00	-2.00			
育児の経験を活かすことができる		度数	271	932	1,203		
	いい	割合	32.5%	36.4%	35.5%		
	え	調整済み					
		残差	-2.00	2.00			
		度数	9	12	21	0.051	*
	はい	割合	1.1%	0.5%	0.6%		
		調整済み					
		残差	2.00	-2.00			
特に得たものはない		度数	824	2,547	3,371		
	いい	割合	98.9%	99.5%	99.4%		
	え	調整済み					
		残差	-2.00	2.00			

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

幼稚園教諭免許

幼稚園教諭免許のある人が、幼稚園教諭免許のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「育児の経験を活かすことができる」の1項目となった。

幼稚園教諭免許のない人が、幼稚園教諭免許のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「育児に関する知識や技術を身につけることができる」の1項目となった。

以上のことから、幼稚園教諭免許の有無で、「提供会員になったことで得たもの」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-38 提供会員になったことで得たもの×幼稚園教諭免許の有無

		幼稚園教諭免許		合計	P	
		有	無			
育児に関する知識や技術を身につける ことができる		度数	160	848	1,008	>.00 **
	はい	割合	24.2%	31.1%	29.7%	
		調整済み残差	-3.48	3.48		
	いいえ	度数	502	1,882	2,384	
		割合	75.8%	68.9%	70.3%	
		調整済み残差	3.48	-3.48		
		度数	456	1,733	2,189	0.01 **
育児の経験を活かすことができる	はい	割合	68.9%	63.5%	64.5%	
		調整済み残差	2.61	-2.61		
	いいえ	度数	206	997	1,203	
		割合	31.1%	36.5%	35.5%	
		調整済み残差	-2.61	2.61		
			度数	456	1,733	2,189

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

小・中・高教諭免許

小・中・高教諭免許のある人が、小・中・高教諭免許のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「社会参加ができる」の1項目となった。

小・中・高教諭免許のない人が、小・中・高教諭免許のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある」の1項目となった。

以上のことから、小・中・高教諭免許の有無で、「提供会員になったことで得たもの」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-39 提供会員になったことで得たもの×小中高教諭免許の有無

		小中高教諭免許		合計	P	
		有	無			
社会参加ができる		度数	214	1,328	1,542	>.00 **
	はい	割合	53.8%	44.4%	45.5%	
		調整済み残差	3.54	-3.54		
	いいえ	度数	184	1,666	1,850	
		割合	46.2%	55.6%	54.5%	
		調整済み残差	3.54	-3.54		
		度数	214	1,328	1,542	>.00 **

		調整済み 残差	-3.54	3.54		
		度数	146	1,255	1,401	0.05 *
	はい	割合	36.7%	41.9%	41.3%	
援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違 う面の発見がある		調整済み 残差	-1.99	1.99		
		度数	252	1,739	1,991	
		割合	63.3%	58.1%	58.7%	
	いいえ	調整済み 残差	1.99	-1.99		
		度数				
		割合				

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

看護師資格

看護師資格のある人が、看護師資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「社会の役に立っていることが実感できる」「社会参加ができる」の2項目となった。

看護師資格のない人が、看護師資格のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

以上のことから、看護師資格の有無で、「提供会員になったことで得たもの」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-40 提供会員になったことで得たもの×看護師資格の有無

		看護師資格		合計	P	
		有	無			
社会の役に立っていることが実感できる		度数	81	1,623	1,704	0.02 *
	はい	割合	60.4%	49.8%	50.2%	
		調整済み残差	2.41	-2.41		
		度数	53	1,635	1,688	
	いいえ	割合	39.6%	50.2%	49.8%	
		調整済み残差	-2.41	2.41		
社会参加ができる		度数	77	1,465	1,542	>.00 **
	はい	割合	57.5%	45.0%	45.5%	
		調整済み残差	2.85	-2.85		
		度数	57	1,793	1,850	
	いいえ	割合	42.5%	55.0%	54.5%	
		調整済み残差	-2.85	2.85		

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

ホームヘルパー資格

ホームヘルパー資格のある人が、ホームヘルパー資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「社会参加ができる」の1項目となった。

ホームヘルパー資格のない人が、ホームヘルパー資格のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

以上のことから、ホームヘルパー資格の有無で、「提供会員になったことで得たもの」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-41 提供会員になったことで得たもの×ホームヘルパーの資格の有無

		ホームヘルパー		合計	P		
		資格					
		有	無				
社会参加ができる	はい	度数	238	1,304	1,542	0.04	*
		割合	49.8%	44.7%	45.5%		
		調整済み残差	2.05	-2.05			
	いいえ	度数	240	1,610	1,850		
		割合	50.2%	55.3%	54.5%		
		調整済み残差	-2.05	2.05			

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

社会福祉士資格

「提供会員になったことで得たもの」は、社会福祉士資格の有無によって、有意な差は見られなかった。

資格なし

資格のない人が、何らかの資格がある人、または無回答と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

何らかの資格がある人、または無回答が、資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目は、「社会の役に立っていることが実感できる」「社会参加ができる」「自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい」の3項目となった。

以上のことから、資格の有無で、「提供会員になったことで得たもの」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-42 提供会員になったことで得たもの×特に資格なし

		特になし		合計	P		
		なし	資格有・無回				
			答				
社会の役に立っていることが実感できる	はい	度数	589	1,115	1,704	>.00	**
		割合	46.0%	52.8%	50.2%		

	調整済み残差	-3.86	3.86		
	度数	692	996	1,688	
いい	割合	54.0%	47.2%	49.8%	
え	調整済み残差	3.86	-3.86		
	度数	530	1,012	1,542	>.00 **
はい	割合	41.4%	47.9%	45.5%	
	調整済み残差	-3.72	3.72		
社会参加ができる	度数	751	1,099	1,850	
いい	割合	58.6%	52.1%	54.5%	
え	調整済み残差	3.72	-3.72		
	度数	822	1,441	2,263	0.01 *
はい	割合	64.2%	68.3%	66.7%	
	調整済み残差	-2.45	2.45		
自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい	度数	459	670	1,129	
いい	割合	35.8%	31.7%	33.3%	
え	調整済み残差	2.45	-2.45		

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

II-3. 多様な背景や考え方を持った家庭への関わりと属性

II-3- (1) 年齢とのクロス集計

「多様な背景や考え方を持った家庭への関わり」の質問に対しては、あてはまるものすべてに回答する複数回答法で回答を得た。

提供会員の回答を、子育て世代（40歳代まで）と、子育てを終えた世代（50歳代以降）に分け、「多様な背景や考え方を持った家庭への関わり」を持った家庭への支援への関わりとクロス集計を行った。

その結果、有意差が見られた項目の中で、「子育て世代」あるいは「子育てが終わった世代」のどちらかの特徴として認められるものだけ、表2-II-43から表2-II-51の調整済み残差の数値（絶対値1.96以上）によって明らかにした。

「子育て世代」が「子育てが終わった世代」と比較して「はい」と回答した割合が有意に多いのは、一つもなかった。

一方「子育てが終わった世代」が「子育て世代」と比較して「はい」と回答した割合が有意に多いのは、表2-II-43から表2-II-51で、「病児・病後の子ども」「外国籍家庭」「生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭」「親が精神的な疾患のある家庭」「ひとり親家庭」「DVあるいはその予備軍の家庭」「虐待あるいはその予

備軍の家庭（ネグレクト・身体への虐待等）「転勤・転居してきたばかりの家庭」「お稽古事や習い事が多すぎる家庭」の9項目であった。

以上のことから、「子育てが終わった世代」の方が「子育て世代」より割合としては多く、多様な背景や考え方を持った家庭への援助活動を行っていることが明らかとなった。

表 2-II-43 病児・病後の子ども×世代

	子育て 世代	子育て 終了	合計	<i>p</i>
度数	373	1,879	2,252	0
はい の %	57.30%	68.70%	66.50%	
調整 済み 残差	-5.5	5.5		
度数	278	857	1,135	
いい え の %	42.70%	31.30%	33.50%	
調整 済み 残差	5.5	-5.5		

表 2-II-44 外国籍家庭×世代

	子育て 世代	子育て 終了	合計	<i>p</i>
度数	144	725	869	0.022
はい の %	22.10%	26.50%	25.70%	
調整 済み 残差	-2.3	2.3		
度数	507	2,011	2,518	
いい え の %	77.90%	73.50%	74.30%	
調整 済み 残差	2.3	-2.3		

表 2-II-45 生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭×世代

	子育て 世代	子育て 終了	合計	<i>p</i>
度数	53	341	394	0.002
はい の %	8.10%	12.50%	11.60%	
調整 済み 残差	-3.1	3.1		

表 2-II-46 親が精神的な疾患のある家庭×世代

	子育て 世代	子育て 終了	合計	<i>p</i>
度数	191	1,063	1,254	>.00
はい の %	29.30%	38.90%	37.00%	
調整 済み 残差	-4.5	4.5		

	度数	598	2,395	2,993
いいえ	子育て世代の%	91.90%	87.50%	88.40%
	調整済み残差	3.1	-3.1	

	度数	460	1,673	2,133
いいえ	子育て世代の%	70.70%	61.10%	63.00%
	調整済み残差	4.5	-4.5	

表2-II-47 ひとり親家庭×世代

	子育て世代	子育て終了	合計	<i>p</i>	
はい	度数	224	1,273	1,497	>.00
	子育て世代の%	34.40%	46.50%	44.20%	
	調整済み残差	-5.6	5.6		
いいえ	度数	427	1,463	1,890	
	子育て世代の%	65.60%	53.50%	55.80%	
	調整済み残差	5.6	-5.6		

表2-II-48 DVあるいはその予備軍の家庭×世代

	子育て世代	子育て終了	合計	<i>p</i>	
はい	度数	11	121	132	0.002
	子育て世代の%	1.70%	4.40%	3.90%	
	調整済み残差	-3.2	3.2		
いいえ	度数	640	2,615	3,255	
	子育て世代の%	98.30%	95.60%	96.10%	
	調整済み残差	3.2	-3.2		

表2-II-49 虐待あるいはその予備軍の家庭（ネグレクト・身体への虐待等）×世代

	子育て世代	子育て終了	合計	<i>p</i>	
はい	度数	23	149	172	0.047
	子育て世代の%	3.50%	5.40%	5.10%	

表2-II-50 転勤・転居してきたばかりの家庭×世代

	子育て世代	子育て終了	合計	<i>p</i>	
はい	度数	136	802	938	>.000
	子育て世代の%	20.90%	29.30%	27.70%	

	代 の %				代 の %			
	調整				調整			
	済み	-2	2		済み	-4.3	4.3	
	残差				残差			
	度数	628	2,587	3,215	度数	515	1,934	2,449
	子育て世 代の %	96.50%	94.60%	94.90%	子育て世 代の %	79.10%	70.70%	72.30%
いいえ	調整				調整			
	済み	2	-2		済み	4.3	-4.3	
	残差				残差			

表 2-II-51 お稽古事や習い事が多すぎる家庭×世代

	子育て 世代	子育て 終了	合計	<i>p</i>	
	度数	72	382	454	0.055
	子育て世 代の %	11.10%	14.00%	13.40%	
はい	調整				
	済み	-2	2		
	残差				
	度数	579	2,354	2,933	
	子育て世 代の %	88.90%	86.00%	86.60%	
いいえ	調整				
	済み	2	-2		
	残差				

II-3-(2) 配偶者の有無

ここでは、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」と配偶者の有無について、クロス集計を行った。その結果、5%水準で有意差が見られた項目の中で、配偶者の有無の特徴として認められるものだけ、表 2-

II-52 から表 2-II-54 の調整済み残差の数値（絶対値 1.96 以上）によって明らかにした。

配偶者の「あり」が、配偶者「なし」と比較して「はい」と回答した割合が有意に多いのは、「子育てと介護をしている家庭」「親が妊娠中の家庭」の 2 項目であった。

配偶者「なし」が、配偶者の「あり」と比較して「はい」と回答した割合が有意に多いのは、「ひとり親家庭」の 1 項目であった。

以上のことから、配偶者の有無で、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-52 ひとり親家庭×配偶者の有無

		配偶者の有無		
		あり	なし	p
はい	度数	1,278	218	0.018
	割合	43.40%	49.40%	
	調整			
	済み	-2.4	2.4	
いいえ	度数	1,665	223	
	割合	56.60%	50.60%	
	調整			
	済み	2.4	-2.4	

表 2-II-53 子育てと介護をしている家庭×配偶者の有無

		配偶者の有無		
		あり	なし	p
はい	度数	127	10	0.051
	割合	4.30%	2.30%	
	調整			
	済み	2	-2	
いいえ	度数	2,816	431	
	割合	95.70%	97.70%	
	調整			
	済み	-2	2	

表 2-II-54 親が妊娠中の家庭×配偶者の有無

		配偶者の有無		
		あり	なし	p
はい	度数	1,045	130	0.014
	割合	35.50%	29.50%	
	調整			
	済み	2.5	-2.5	
いいえ	度数	1,898	311	
	割合	64.50%	70.50%	
	調整			
	済み	-2.5	2.5	

II-3-(3) 活動年数

提供会員の回答を、活動年数5年以上と5年未満に分け、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」とクロス集計を行った。

その結果、表2-II-55の通り全項目で、5年以上の提供会員が「はい」と回答している割合が、5年未満の提供会員より、有意に多いことが明らかとなった。また、多くの項目で、割合に大きな開きがあることが顕著となった。特に、「病児・病後の子ども」「ひとり親家庭」「発達の遅れや障がいがある子ども」「アレルギーのある子ども」「親が精神的な疾患のある家庭」「親が妊娠中の家庭」「転勤・転居してきたばかりの家庭」「外国籍家庭」「医療的ケアの必要な子ども」の順に、5年以上の提供会員が、5年未満の提供会員より関わっている割合が有意に多くなっている。

以上のことから、提供会員の活動年数5年以上の方が、「多様な背景や考え方をを持った家庭」と関わる機会が多いことが明らかとなった。

表2-II-55 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×活動年数

		5年		p	
		以上	未満		
病児・病後の子ども	はい	度数	1,518	732	>.000 **
		割合	78.30%	50.90%	
		調整済み残差	16.7	-16.7	
	いいえ	度数	421	705	
		割合	21.70%	49.10%	
		調整済み残差	-16.7	16.7	
発達の遅れや障がいがある子ども	はい	度数	1,519	827	>.000 **
		割合	78.30%	57.60%	
		調整済み残差	13	-13	
	いいえ	度数	420	610	
		割合	21.70%	42.40%	
		調整済み残差	-13	13	
医療的ケアの必要な子ども	はい	度数	562	200	>.000 **
		割合	29.00%	13.90%	
		調整済み残差	10.4	-10.4	
	いいえ	度数	1,377	1,237	
		割合	71.00%	86.10%	
		調整済み残差	-10.4	10.4	
エピペン（アドレナリン自己注射）を処方された子ども	はい	度数	176	46	>.000 **
		割合	9.10%	3.20%	
		調整済み残差	6.8	-6.8	
	いいえ	度数	1,763	1,391	
		割合	90.90%	96.80%	
		調整済み残差	-6.8	6.8	

アレルギーのある子ども	はい	度数	572	162	>.000	
		割合	29.50%	11.30%		
		調整済み残差	12.7	-12.7		
	いいえ	度数	1,367	1,275		
		割合	70.50%	88.70%		
		調整済み残差	-12.7	12.7		
外国籍家庭	はい	度数	630	238	>.000	
		割合	32.50%	16.60%		
		調整済み残差	10.5	-10.5		
	いいえ	度数	1,309	1,199		
		割合	67.50%	83.40%		
		調整済み残差	-10.5	10.5		
経済的に困窮している家庭	はい	度数	370	168	>.000	
		割合	19.10%	11.70%		
		調整済み残差	5.8	-5.8		
	いいえ	度数	1,569	1,269		
		割合	80.90%	88.30%		
		調整済み残差	-5.8	5.8		
生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭	はい	度数	302	92	>.000	
		割合	15.60%	6.40%		
		調整済み残差	8.2	-8.2		
	いいえ	度数	1,637	1,345		
		割合	84.40%	93.60%		
		調整済み残差	-8.2	8.2		
親が精神的な疾患のある家庭	はい	度数	885	369	>.000	
		割合	45.60%	25.70%		
		調整済み残差	11.9	-11.9		
	いいえ	度数	1,054	1,068		
		割合	54.40%	74.30%		
		調整済み残差	-11.9	11.9		
親が障がい者の家庭	はい	度数	154	56	>.000	
		割合	7.90%	3.90%		
		調整済み残差	4.8	-4.8		
	いいえ	度数	1,785	1,381		
		割合	92.10%	96.10%		
		調整済み残差	-4.8	4.8		
ひとり親家庭	はい	度数	1,047	448	>.000	
		割合	54.00%	31.20%		
		調整済み残差	13.2	-13.2		

	いいえ	度数	892	989		
		割合	46.00%	68.80%		
		調整済み残差	-13.2	13.2		
高齢出産の家庭	はい	度数	216	52	>.000	**
		割合	11.10%	3.60%		
		調整済み残差	8	-8		
	いいえ	度数	1,723	1,385		
		割合	88.90%	96.40%		
		調整済み残差	-8	8		
多胎育児家庭	はい	度数	389	118	>.000	**
		割合	20.10%	8.20%		
		調整済み残差	9.5	-9.5		
	いいえ	度数	1,550	1,319		
		割合	79.90%	91.80%		
		調整済み残差	-9.5	9.5		
若年出産の家庭	はい	度数	138	28	>.000	**
		割合	7.10%	1.90%		
		調整済み残差	6.9	-6.9		
	いいえ	度数	1,801	1,409		
		割合	92.90%	98.10%		
		調整済み残差	-6.9	6.9		
避難してきた（している）家庭	はい	度数	64	19	>.000	**
		割合	3.30%	1.30%		
		調整済み残差	3.7	-3.7		
	いいえ	度数	1,875	1,418		
		割合	96.70%	98.70%		
		調整済み残差	-3.7	3.7		
子育てと介護をしている家庭	はい	度数	109	28	>.000	**
		割合	5.60%	1.90%		
		調整済み残差	5.3	-5.3		
	いいえ	度数	1,830	1,409		
		割合	94.40%	98.10%		
		調整済み残差	-5.3	5.3		
DV あるいはその予備軍の家庭	はい	度数	107	25	>.000	**
		割合	5.50%	1.70%		
		調整済み残差	5.6	-5.6		
	いいえ	度数	1,832	1,412		
		割合	94.50%	98.30%		
		調整済み残差	-5.6	5.6		

虐待あるいはその予備軍の家庭（ネグレクト・身体への虐待等）	はい	度数	135	37	>.000
		割合	7.00%	2.60%	
		調整済み残差	5.7	-5.7	
	いいえ	度数	1,804	1,400	
		割合	93.00%	97.40%	
		調整済み残差	-5.7	5.7	
転勤・転居してきたばかりの家庭	はい	度数	683	255	>.000 **
		割合	35.20%	17.70%	
		調整済み残差	11.2	-11.2	
	いいえ	度数	1,256	1,182	
		割合	64.80%	82.30%	
		調整済み残差	-11.2	11.2	
親が妊娠中の家庭	はい	度数	836	338	>.000 **
		割合	43.10%	23.50%	
		調整済み残差	11.8	-11.8	
	いいえ	度数	1,103	1,099	
		割合	56.90%	76.50%	
		調整済み残差	-11.8	11.8	
ファミサポへ過度に依存する家庭	はい	度数	176	54	>.000 **
		割合	9.10%	3.80%	
		調整済み残差	6.1	-6.1	
	いいえ	度数	1,763	1,383	
		割合	90.90%	96.20%	
		調整済み残差	-6.1	6.1	
複雑な家族構成の家庭	はい	度数	246	87	>.000 **
		割合	12.70%	6.10%	
		調整済み残差	6.4	-6.4	
	いいえ	度数	1,693	1,350	
		割合	87.30%	93.90%	
		調整済み残差	-6.4	6.4	
複合的に多くの問題を抱えた家庭	はい	度数	187	63	>.000 **
		割合	9.60%	4.40%	
		調整済み残差	5.8	-5.8	
	いいえ	度数	1,752	1,374	
		割合	90.40%	95.60%	
		調整済み残差	-5.8	5.8	
提供会員へのハラスメントやパワハラ傾向のある家庭	はい	度数	26	4	0.001 **
		割合	1.30%	0.30%	
		調整済み残差	3.3	-3.3	

	いいえ	度数	1,913	1,433		
		割合	98.70%	99.70%		
		調整済み残差	-3.3	3.3		
安価なベビーシッターや安価なタクシー代わりに頻回利用している家庭	はい	度数	142	52	>.000	**
		割合	7.30%	3.60%		
		調整済み残差	4.6	-4.6		
	いいえ	度数	1,797	1,385		
		割合	92.70%	96.40%		
		調整済み残差	-4.6	4.6		
お稽古事や習い事が多すぎる家庭	はい	度数	334	119	>.000	**
		割合	17.20%	8.30%		
		調整済み残差	7.5	-7.5		
	いいえ	度数	1,605	1,318		
		割合	82.80%	91.70%		
		調整済み残差	-7.5	7.5		

表 2-II-56 多様な家庭の一覧

調整済み残差

1	病児・病後の子ども	16.7
2	ひとり親家庭	13.2
3	発達の遅れや障がいがある子ども	13
4	アレルギーのある子ども（4も含む）	12.7
5	親が精神的な疾患のある家庭	11.9
6	親が妊娠中の家庭	11.8
7	転勤・転居してきたばかりの家庭	11.2
8	外国籍家庭	10.5
9	医療的ケアの必要な子ども	10.4
10	多胎育児家庭	9.5
11	生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭	8.2
12	高齢出産の家庭	8
13	お稽古事や習い事が多すぎる家庭	7.5
14	若年出産の家庭	6.9
15	エピペン（アドレナリン自己注射）を処方された子ども	6.8
16	複雑な家族構成の家庭	6.4
17	ファミサポへ過度に依存する家庭	6.1
18	経済的に困窮している家庭	5.8
19	複合的に多くの問題を抱えた家庭	5.8
20	虐待あるいはその予備軍の家庭（ネグレクト・身-70 体への虐待等）	5.7
21	DV あるいはその予備軍の家庭	5.6
22	子育てと介護をしている家庭	5.3
23	親が障がい者の家庭	4.8
24	安価なベビーシッターや安価なタクシー代わりに頻回利用している家庭	4.6
25	避難してきた（している）家庭	3.7
26	提供会員へのハラスメントやパワハラ傾向のある家庭	3.3

II-3-(4) 就業形態

「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」と就業形態について、就業形態の選択肢は、「無職」「正社員・正規職員」「パート・アルバイト・契約・臨時・嘱託」「派遣社員」「請負社員」「自営業主、自由業者」「家族従業者」「内職」「経営者、役員」「上記以外」という10項目を選択する形となっている。ここでは、雇用形態によって、どのような違いがあるのか明らかにするために、上記を「正規雇用」「非正規雇用」「無職」の3つに分類し、その他を除外してクロス集計を行った。

その結果、「病児・病後の子ども」「発達の遅れや障がいがある子ども」「外国籍家庭」「親が精神的な疾患のある家庭」「転勤・転居してきたばかりの家庭」「親が妊娠中の家庭」の6項目は、5%水準で有意差が見られた。また、「ひとり親家庭」「お稽古事や習い事が多すぎる家庭」の2項目は有意傾向があった。

表2-II-57の調整済み残差の結果から、(絶対値1.96以上)、「正規雇用」の群は、全ての項目で、他の群より「あてはまる」と回答した割合が少ないことが明らかとなった。

一方、「非正規雇用」の群が、「正規雇用」よりも「あてはまる」と回答している割合が有意に多い項目は、「外国籍家庭」の1項目となった。

「無職」の群が、「あてはまる」と回答している割合が有意に多い項目は、「病児・病後の子ども」「発達の遅れや障がいがある子ども」「親が精神的な疾患のある家庭」「転勤・転居してきたばかりの家庭」「親が妊娠中の家庭」の5項目となった。

以上のことから、「無職」の群が、「正規雇用」と比較して、圧倒的に「多様な背景や考え方をを持った家庭」と関わる機会が多いことが明らかとなった。

表2-II-57 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×就業形態

		正規雇用	非正規雇用	無職	P	
病児・病後の子ども	度数	72	1,012	933	0.022	
	はい	割合	57.60%	65.30%		68.40%
	調整済み残差	-2.1	-1.3	2.1		
	いいえ	度数	53	538		431
	割合	42.40%	34.70%	31.60%		
	調整済み残差	2.1	1.3	-2.1		
発達の遅れや障がいがある子ども	度数	67	1,060	966	0	
	はい	割合	53.60%	68.40%		70.80%
	調整済み残差	-3.8	-0.6	2.1		
	いいえ	度数	58	490		398
	割合	46.40%	31.60%	29.20%		
	調整済み残差	3.8	0.6	-2.1		
外国籍家庭	度数	20	412	330	0.019	
	はい	割合	16.00%	26.60%		24.20%
	調整済み残差	-2.4	2	-1		
	いいえ	度数	105	1,138		1,034
	割合	84.00%	73.40%	75.80%		

		調整済み残差	2.4	-2	1	
親が精神的 な疾患のあ る家庭	はい	度数	28	533	560	>.000
		割合	22.40%	34.40%	41.10%	
		調整済み残差	-3.4	-2.9	4.3	
	いいえ	度数	97	1,017	804	
		割合	77.60%	65.60%	58.90%	
		調整済み残差	3.4	2.9	-4.3	
ひとり親家 庭	はい	度数	44	669	622	0.055
		割合	35.20%	43.20%	45.60%	
		調整済み残差	-2	-0.9	1.7	
	いいえ	度数	81	881	742	
		割合	64.80%	56.80%	54.40%	
		調整済み残差	2	0.9	-1.7	
転勤・転居 してきたば かりの家庭	はい	度数	15	393	424	>.000
		割合	12.00%	25.40%	31.10%	
		調整済み残差	-3.9	-2.6	4.1	
	いいえ	度数	110	1,157	940	
		割合	88.00%	74.60%	68.90%	
		調整済み残差	3.9	2.6	-4.1	
親が妊娠中 の家庭	はい	度数	27	513	500	0.001
		割合	21.60%	33.10%	36.70%	
		調整済み残差	-3	-1.3	2.6	
	いいえ	度数	98	1,037	864	
		割合	78.40%	66.90%	63.30%	
		調整済み残差	3	1.3	-2.6	
お稽古事や 習い事が多 すぎる家庭	はい	度数	8	205	178	0.087
		割合	6.40%	13.20%	13.00%	
		調整済み残差	-2.2	0.6	0.3	
	いいえ	度数	117	1,345	1,186	
		割合	93.60%	86.80%	87.00%	
		調整済み残差	2.2	-0.6	-0.3	

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

II-3-(5) 保有資格

ここでは、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」と保有資格の有無について、クロス集計を行った。その結果、表2-II-58～表2-II-64の調整済み残差の数値（絶対値1.96以上）から、有意な特徴が明らかとなった。

保育士資格

保育士資格のある人が、保育士資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いものはなかった。

保育士資格のない人が、保育士資格のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「ひとり親家庭」の1項目となった。

以上のことから、保育士資格の有無で、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-58 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×保育士資格の有無

		保育士資格		合計	P	
		有	無			
ひとり親家庭	はい	度数	341	1,158	1,499	0.03
		割合	40.9%	45.3%	44.2%	
		調整済み残差	-2.2	2.2		
	いいえ	度数	492	1,401	1,893	
		割合	59.1%	54.7%	55.8%	
		調整済み残差	2.2	-2.2		

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

幼稚園教諭免許

幼稚園教諭免許のある人が、幼稚園教諭免許のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いものはなかった。

幼稚園教諭免許のない人が、幼稚園教諭免許のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭」の1項目となった。

以上のことから、幼稚園教諭免許の有無で、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-59 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×幼稚園教諭免許の有無

		幼稚園教諭免許		合計	P	
		有	無			
生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭	はい	度数	61	333	394	0.04
		幼稚園教諭の%	9.2%	12.2%	11.6%	
		調整済み残差	-2.1	2.1		
	いいえ	度数	601	2,397	2,998	
		幼稚園教諭の%	90.8%	87.8%	88.4%	

調整済み 残差	2.1	-2.1		
			† .05 < p < .10	* p < .05 ** p < .01

小・中・高教諭免許

小・中・高教諭免許のある人が、小・中・高教諭免許のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「虐待あるいはその予備軍の家庭（ネグレクト・身体への虐待等）」の1項目となった。

小・中・高教諭免許のない人が、小・中・高教諭免許のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

以上のことから、小・中・高教諭免許の有無で、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-60 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×小中高教諭免許の有無

		小中高教諭免許		合計	P		
		有	無				
虐待あるいはその予備軍の家庭（ネグレクト・身体への虐待等）	はい	度数	29	143	172	0.04	*
		割合	7.3%	4.8%	5.1%		
		調整済み残差	2.1	-2.1			
	いいえ	度数	369	2851	3,220		
		割合	92.7%	95.2%	94.9%		
		調整済み残差	-2.1	2.1			

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

看護師資格

看護師資格のある人が、看護師資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

看護師資格のない人が、看護師資格のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目は「外国籍家庭」「お稽古事や習い事が多すぎる家庭」の2項目となった。

以上のことから、看護師資格の有無で、多様な背景や考え方をを持った家庭への関わりに違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-61 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×看護師資格の有無

		看護師資格		合計	P		
		有	無				
外国籍家庭	はい	度数	20	849	869	>.00	**
		割合	14.9%	26.1%	25.6%		

		調整済み残差	-2.9	2.9		
		度数	114	2,409	2,523	
	いいえ	割合	85.1%	73.9%	74.4%	
		調整済み残差	2.9	-2.9		
		度数	10	444	454	*
	はい	割合	7.5%	13.6%	13.4%	
		調整済み残差	-2.1	2.1		
お稽古事や習い事が多すぎる家庭						0.05
		度数	124	2,814	2,938	
	いいえ	割合	92.5%	86.4%	86.6%	
		調整済み残差	2.1	-2.1		

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01

ホームヘルパー資格

ホームヘルパー資格のある人が、ホームヘルパー資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「経済的に困窮している家庭」「生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭」「ひとり親家庭」「若年出産の家庭」「子育てと介護をしている家庭」「複雑な家族構成の家庭」の6項目となった。

ホームヘルパー資格のない人が、ホームヘルパー資格のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

以上のことから、ホームヘルパー資格の有無で、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-62 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×ホームヘルパー資格の有無

		ホームヘルパー			P		
		資格		合計			
		有	無				
		度数	91	447	538	0.04	*
	はい	割合	19.0%	15.3%	15.9%		
		調整済み残差	2.1	-2.1			
経済的に困窮している家庭		度数	387	2,467	2,854		
	いいえ	割合	81.0%	84.7%	84.1%		
		調整済み残差	-2.1	2.1			
		度数	71	323	394	0.02	*
	はい	割合	14.9%	11.1%	11.6%		
		調整済み残差	2.4	-2.4			
生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭		度数	407	2,591	2,998		
	いいえ	割合	85.1%	88.9%	88.4%		

		調整済み残差	-2.4	2.4		
		度数	236	1,263	1,499	0.01 *
	はい	割合	49.4%	43.3%	44.2%	
ひとり親家庭		調整済み残差	2.5	-2.5		
		度数	242	1,651	1,893	
	いいえ	割合	50.6%	56.7%	55.8%	
		調整済み残差	-2.5	2.5		
		度数	36	130	166	>.00 **
	はい	割合	7.5%	4.5%	4.9%	
若年出産の家庭		調整済み残差	2.9	-2.9		
		度数	442	2,784	3,226	
	いいえ	割合	92.5%	95.5%	95.1%	
		調整済み残差	-2.9	2.9		
		度数	28	109	137	0.03 *
	はい	割合	5.9%	3.7%	4.0%	
子育てと介護をしている家庭		調整済み残差	2.2	-2.2		
		度数	450	2,805	3,255	
	いいえ	割合	94.1%	96.3%	96.0%	
		調整済み残差	-2.2	2.2		
		度数	66	267	333	>.00 **
	はい	割合	13.8%	9.2%	9.8%	
複雑な家族構成の家庭		調整済み残差	3.2	-3.2		
		度数	412	2,647	3,059	
	いいえ	割合	86.2%	90.8%	90.2%	
		調整済み残差	-3.2	3.2		

†.05<p<.10 *p<.05 **p<.01

社会福祉士資格

社会福祉士資格のある人が、社会福祉士資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多いのは、「医療的ケアの必要な子ども」「外国籍家庭」「経済的に困窮している家庭」「生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭」「親が精神的な疾患のある家庭」「若年出産の家庭」「DV あるいはその予備軍の家庭」「安価なベビーシッターや安価なタクシー代わりに頻回利用している家庭」の8項目となった。

社会福祉士資格のない人が、社会福祉士資格のある人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

以上のことから、社会福祉士資格の有無で、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-63 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×社会福祉士資格の有無

		社会福祉士資格		合計	P		
		有	無				
医療的ケアの必要な子ども	はい	度数	13	749	762	0.07	*
		割合	36.1%	22.3%	22.5%		
		調整済み残差	2.0	-2.0			
	いいえ	度数	23	2,607	2,630		
		割合	63.9%	77.7%	77.5%		
		調整済み残差	-2.0	2.0			
外国籍家庭	はい	度数	17	852	869	>.00	**
		割合	47.2%	25.4%	25.6%		
		調整済み残差	3.0	-3.0			
	いいえ	度数	19	2,504	2,523		
		割合	52.8%	74.6%	74.4%		
		調整済み残差	-3.0	3.0			
経済的に困窮している家庭	はい	度数	11	527	538	0.02	*
		割合	30.6%	15.7%	15.9%		
		調整済み残差	2.4	-2.4			
	いいえ	度数	25	2,829	2,854		
		割合	69.4%	84.3%	84.1%		
		調整済み残差	-2.4	2.4			
生活保護受給・市町民税非課税を受けている家庭	はい	度数	8	386	394	0.06	*
		割合	22.2%	11.5%	11.6%		
		調整済み残差	2.0	-2.0			
	いいえ	度数	28	2,970	2,998		
		割合	77.8%	88.5%	88.4%		
		調整済み残差	-2.0	2.0			
親が精神的な疾患のある家庭	はい	度数	19	1,235	1,254	0.06	*
		割合	52.8%	36.8%	37.0%		
		調整済み残差	2.0	-2.0			
	いいえ	度数	17	2,121	2,138		
		割合	47.2%	63.2%	63.0%		
		調整済み残差					

		調整済み残差	-2.0	2.0	
		度数	5	161	166
	はい	割合	13.9%	4.8%	4.9%
		調整済み残差	2.5	-2.5	
若年出産の家庭		度数	31	3,195	3,226
	いいえ	割合	86.1%	95.2%	95.1%
		調整済み残差	-2.5	2.5	
		度数	4	128	132
	はい	割合	11.1%	3.8%	3.9%
		調整済み残差	2.3	-2.3	
DV あるいはその予備軍の家庭		度数	32	3,228	3,260
	いいえ	割合	88.9%	96.2%	96.1%
		調整済み残差	-2.3	2.3	
		度数	5	189	194
	はい	割合	13.9%	5.6%	5.7%
		調整済み残差	2.1	-2.1	
安価なベビーシッターや安価なタクシー代わりに頻回利用している家庭		度数	31	3,167	3,198
	いいえ	割合	86.1%	94.4%	94.3%
		調整済み残差	-2.1	2.1	

†.05<p<.10 * p<.05 ** p<.01

資格なし

資格のない人が、何らかの資格がある人、または無回答と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目はなかった。

何らかの資格がある人、または無回答が、資格のない人と比較して「あてはまる」と回答した割合が有意に多い項目は、「病児・病後の子ども」「医療的ケアの必要な子ども」「エピペン（アドレナリン自己注射）を処方された子ども」「アレルギーのある子ども」「若年出産の家庭」「子育てと介護をしている家庭」「DV あるいはその予備軍の家庭」「虐待あるいはその予備軍の家庭（ネグレクト・身体への虐待等）」「複雑な家族構成の家庭」「複合的に多くの問題を抱えた家庭」の 10 項目となった。

以上のことから、資格の有無で、「多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり」に違いがあることが明らかとなった。

表 2-II-64 多様な背景や考え方をを持った家庭への関わり×資格なし

		資格の有無		合計	P			
		特になし	無回答					
病児・病後の子ども	はい	度数	825	1,429	2,254	0.05	*	
		割合	64.4%	67.7%				66.5%
		調整済み残差	-1.97	1.97				
	いいえ	度数	456	682	1,138			
		割合	35.6%	32.3%	33.5%			
		調整済み残差	1.97	-1.97				
医療的ケアの必要な子ども	はい	度数	248	514	762	>.00	**	
		割合	19.4%	24.3%				22.5%
		調整済み残差	-3.38	3.38				
	いいえ	度数	1,033	1,597	2,630			
		割合	80.6%	75.7%	77.5%			
		調整済み残差	3.38	-3.38				
エピペン（アドレナリン自己注射）を処方された子ども	はい	度数	68	154	222	0.03	*	
		割合	5.3%	7.3%				6.5%
		調整済み残差	-2.27	2.27				
	いいえ	度数	1,213	1,957	3,170			
		割合	94.7%	92.7%	93.5%			
		調整済み残差	2.27	-2.27				
アレルギーのある子ども	はい	度数	254	481	735	0.04	*	
		割合	19.8%	22.8%				21.7%
		調整済み残差	-2.03	2.03				
	いいえ	度数	1,027	1,630	2,657			
		割合	80.2%	77.2%	78.3%			
		調整済み残差	2.03	-2.03				
若年出産の家庭	はい	度数	47	119	166	0.01	*	
		割合	3.7%	5.6%				4.9%
		調整済み残差	-2.60	2.60				
	いいえ	度数	1,234	1,992	3,226			
		割合	96.3%	94.4%	95.1%			
		調整済み残差	2.60	-2.60				
子育てと介護をしている家庭	はい	度数	37	100	137	0.01	*	
		割合	2.9%	4.7%				4.0%

		調整済み残差	-2.65	2.65		
	いいえ	度数	1,244	2,011	3,255	
		割合	97.1%	95.3%	96.0%	
		調整済み残差	2.65	-2.65		
DV あるいはその予備軍の家庭	はい	度数	35	97	132	0.01
		割合	2.7%	4.6%	3.9%	*
		調整済み残差	-2.72	2.72		
	いいえ	度数	1,246	2,014	3,260	
		割合	97.3%	95.4%	96.1%	
		調整済み残差	2.72	-2.72		
虐待あるいはその予備軍の家庭（ネグレクト・身体への虐待等）	はい	度数	52	120	172	0.04
		割合	4.1%	5.7%	5.1%	*
		調整済み残差	-2.09	2.09		
	いいえ	度数	1,229	1,991	3,220	
		割合	95.9%	94.3%	94.9%	
		調整済み残差	2.09	-2.09		
複雑な家族構成の家庭	はい	度数	95	238	333	>.00
		割合	7.4%	11.3%	9.8%	**
		調整済み残差	-3.66	3.66		
	いいえ	度数	1,186	1,873	3,059	
		割合	92.6%	88.7%	90.2%	
		調整済み残差	3.66	-3.66		
複合的に多くの問題を抱えた家庭	はい	度数	72	178	250	>.00
		割合	5.6%	8.4%	7.4%	**
		調整済み残差	-3.04	3.04		
	いいえ	度数	1,209	1,933	3,142	
		割合	94.4%	91.6%	92.6%	
		調整済み残差	3.04	-3.04		

† .05 < p < .10 * p < .05 ** p < .01